

第7号議案

第5期府中市子ども読書活動推進計画について

上記の議案を提出する。

令和5年1月18日

提出者 教育長 酒 井 泰

第5期府中市子ども読書活動推進計画について

第5期府中市子ども読書活動推進計画について、別紙のとおり決定する。

よりよい子どもの読書環境をめざして

第5期府中市子ども 読書活動推進計画

令和6年1月

府 中 市

目 次

第1章 計画の策定に当たって	1
1 計画策定の背景・目的.....	1
2 本計画の位置付け.....	1
3 計画の期間・対象.....	1
4 計画の策定体制.....	2
5 第4期計画の成果.....	2
第2章 現状と課題	13
1 国や東京都の動向.....	13
2 SDGsとの関連.....	13
3 子どもの読書活動の現状.....	15
4 課題と方向性.....	18
第3章 計画の基本構想	20
1 計画の目指す姿と7つの視点.....	20
2 計画目標.....	21
3 施策の体系.....	22
第4章 目標別の施策	23
計画目標1 子どものための読書環境の拡充.....	23
計画目標2 子どもと本との出会いの機会の提供.....	30
計画目標3 読書活動推進体制の整備.....	38
計画目標4 人材の育成・活用.....	41
計画目標5 子どもの読書活動の啓発・広報.....	44
第5章 計画の推進に向けて	46
1 推進体制.....	46
2 進行管理.....	46
資料編	
参考資料1 「第5期府中市子ども読書活動推進計画」に関するアンケート調査 の結果.....	47
参考資料2 子どもの読書活動の推進に関する法律.....	66
参考資料3 府中市子ども読書活動推進委員会規程.....	68
参考資料4 令和5年度府中市子ども読書活動推進委員会委員名簿.....	70
参考資料5 子どもの読書活動推進に関する動向.....	71
参考資料6 注記用語一覧.....	72

第1章 計画の策定に当たって

1 計画策定の背景・目的

本市では、子どもの読書活動の推進に関する法律に基づき、平成15年に府中市子ども読書活動推進計画を策定し、子どもの読書環境の整備に取り組んできました。

第5期府中市子ども読書活動推進計画（以下「本計画」といいます。）は、第4期府中市子ども読書活動推進計画（以下「第4期計画」といいます。）の計画期間が令和6年3月で終了することを受け、これまでの成果や課題を踏まえ、今後も更なる子どもの読書活動の推進を図ることを目的として策定するものです。

本計画では、これまでの活動を継続していくとともに、関係部署との連携を強化し、子どもを取り巻く社会情勢の変化を視野に入れた読書活動の支援と環境の充実を進めていきます。

2 本計画の位置付け

本計画は、子どもの読書活動の推進に関する法律第9条第2項の規定に基づき、本市が策定するものです。令和5年度までを計画期間とする第4期計画を更に充実・展開させる計画として位置付けます。

上位計画：第7次府中市総合計画

関連計画等：府中市立図書館運営方針、第3次府中市学校教育プラン、第3次府中市生涯学習推進計画

3 計画の期間・対象

(1) 計画の期間

本計画は、令和6年度から令和11年度までの6年間を計画期間とします。

ただし、社会経済情勢の変化や法改正の状況等を踏まえ、必要に応じて見直しを行うものとします。

令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
前期			後期		

(2) 計画の対象

0歳からおおむね18歳までの子どもとします。また、保護者を始め、子どもの読書に関わる市民や団体等も対象とします。

4 計画の策定体制

(1) 府中市子ども読書活動推進委員会

本計画の策定に当たっては、本市の子どもの読書活動の推進を図るために設置し、関係部署の職員で構成する府中市子ども読書活動推進委員会(以下「推進委員会」といいます。)において検討を行いました。

(2) 府中市図書館協議会

学識経験者、学校教育関係者や公募市民等で構成された府中市図書館協議会から意見を聴取し、本計画に反映させました。

5 第4期計画の成果

第4期計画では、「子どものための読書環境の拡充」、「子どもと本との出会いの機会の提供」、「読書推進体制の整備」、「人材の育成・活用」、「啓発・広報」の5つを目標に、子ども読書活動の推進を図ってきました。

令和元年度末からは新型コロナウイルス感染症が拡大したことで、市立図書館や学校、保育所等では、休館や休校等の措置を講じるとともに、各種イベントや研修等は中止や時間短縮せざるを得ない時期もありました。再開館後は、感染状況や社会情勢を踏まえながら、開館時間等を徐々に通常の運営に戻すとともに、各種イベントについても換気や消毒、人数制限等の感染対策を講じるなど、利用者の安全と感染防止に最大限の配慮をしながら継続的な実施に努めました。

また、令和3年度には、GIGAスクール構想に基づき、児童・生徒に一人1台のタブレット端末が配付され、DX(デジタル・トランスフォーメーション)¹に向けた取組が加速しました。市立図書館では、令和4年度末に、図書館情報システム及び図書館ホームページを更新するとともに、インターネット上で電子書籍の貸出しや返却等ができる電子書籍サービス「ふちゅう電子図書館」を導入しました。

このほか、第4期計画の施策に基づき、次の取組を実施しました。

<目標1 子どものための読書環境の拡充>

(1) 市立図書館	<ul style="list-style-type: none">● 魅力ある蔵書構成や書架配置の工夫を行った。● 子どもたちが本を探しやすいよう、中央図書館児童室の書架案内を改訂した。● 季節に合わせた特集展示を行うとともに、長く読み継がれてきた優れた図書に関する配架コーナーを設置した。● 「子ども読書の日²」や学校の長期休暇に合わせ、子ども向けイベントを実施した。● 令和5年3月から「ふちゅう電子図書館」を開始した。
-----------	--

(2) 学校図書館	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校図書館担当者連絡協議会等を通して、市立図書館と学校図書館との情報交換や、情報活用能力の育成を図るための図書資料の効果的な活用について研修を実施した。 ● 府中第八小学校・府中第一中学校の校舎の建て替えを契機に、各学校図書館をメディアセンターとして位置付け、児童・生徒が調べ学習や探究学習を行う際に、図書資料やICT機器を複合的に活用できるよう整備した。
(3) その他施設	<ul style="list-style-type: none"> ● 「子どもの読書月間³」に合わせ、心身障害者福祉センター「きずな」で、布の絵本やさわる絵本等を展示したほか、ハンディキャップ資料のリストを配布した。 ● 全保育所、心身障害者福祉センター「きずな」、全学童クラブにおいて読書スペースの蔵書の充実に努めた。

＜目標2 子どもと本との出会いの機会の提供＞

(1) 家庭の役割	<ul style="list-style-type: none"> ● 中央図書館において、乳幼児と保護者が家庭でも絵本に親しめるよう「ちいさい子のためのおはなし会」後に開催している「赤ちゃん絵本プチ講座」にて、絵本の紹介や絵本を読む際のアドバイスをを行った。
(2) いつでも、どこでも、赤ちゃん絵本	<ul style="list-style-type: none"> ● 市立図書館において、おすすめの乳幼児向けの絵本を掲載しているブックリストを配布した。 ● 3・4か月児健康診査の会場において、乳幼児向けの絵本の読み聞かせや乳幼児の図書館利用カードの作成を行う「赤ちゃん絵本文庫」を実施した。
(3) 市立図書館における本との出会い	<ul style="list-style-type: none"> ● 3歳以上の子どもを対象とした「おはなしの森」、1・2歳児と保護者を対象とした「ちいさい子のためのおはなし会」を全館で実施した。また、中央図書館で月1回「土曜おはなしの森」を開催した。 ● 中央図書館において、小学4年生から6年生までを対象としたブックトーク⁴「よむよむ探検隊」を年4回開催した。 ● 新型コロナウイルス感染症の拡大による学校の休校や市立図書館の休館の際に、市立図書館のホームページに子どもたちの学習支援となるホームページのリンク集や「調べものに役立つ資料のリスト」などを掲載した。 また、小・中学生から読んでみたい本のテーマを手紙で募集し、図書館キャラクター「ぶっくん」がおすすめの本を手紙で紹介するイベントを開催した。 ● YA（ヤングアダルト）⁵コーナーで、新着本コーナーを設置するとともに、令和3年9月からは特集展示を実施した。 ● 令和3年度から、中央図書館の「ちいさい子のためのおはなし会」開催日の午前中に、乳幼児と保護者が周りに気兼ねなく滞在できる時間として「親子DE読書タイム」を開始した。
(4) 学校における本との出会い	<ul style="list-style-type: none"> ● 市立小学校における読書週間などに際し、おすすめ本コーナーの設置や学校の教育活動と関連させた本の特集展示などを実施した。 ● 市立小・中学校では、日常的に朝読書などの読書活動を実施することにより、読書時間の確保に努めた。 ● 読書週間・旬間⁶に合わせて先生のおすすめ本コーナーの設置や、読んだ本の冊数やページ数を記録していく読書マラソン等の取組を実施した。

(5) 保健センターにおける本との出会い	<ul style="list-style-type: none"> ● 3・4か月児健康診査の会場で、子どもの図書館利用カードを作成するとともに、絵本の貸出しや読み聞かせを行う「赤ちゃん絵本文庫」を図書館おはなしボランティアとの協働で実施した。 ● 子育て世代包括支援センター「みらい」の相談室やキッズスペースに絵本などを設置した。
(6) 児童館、保育所、幼稚園、学童クラブなどにおける本との出会い	<ul style="list-style-type: none"> ● 市内の保育所や幼稚園などで、市立図書館のおはなし会日程表を配布した。 ● 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、市立図書館の利用を制限していた令和2年3月から6月までの間、市立図書館から市内全学童クラブ（24か所）へ児童書の貸出し・配送を実施した。 ● 市立小学校全22校に併設されている学童クラブにおいて、読書スペースを確保した。 ● 児童館において、絵本の読み聞かせや、子ども向けの手作り絵本教室を実施した。 ● 子ども家庭支援センター「たち」の広場や情報コーナーに絵本などを設置した。
(7) 障害のある子どもの読書活動	<ul style="list-style-type: none"> ● スウェーデンの公共図書館で始まった取組を基に、令和元年度から「りんごの棚⁷」を中央図書館に設置した。 ● 市立図書館において、布の絵本やさわる絵本、L Lブック⁸など様々な種類の図書を収集し、貸出しを行った。
(8) 国際交流に向けての読書活動	<ul style="list-style-type: none"> ● 市立図書館において、外国語絵本を収集した。 ● 中央図書館の展示コーナーにおいて、日本語の児童書に加えて外国語の絵本を並列して展示した。
(9) 東京オリンピック・パラリンピックに向けての読書活動の支援	<ul style="list-style-type: none"> ● 市立図書館において、オリンピック・パラリンピックや国際交流に関する資料を収集するとともに、オリンピック関連資料を集めた学級貸出セットの貸出しを行った。 ● 学校図書館において、関連資料の配架の工夫及び新たな資料の収集に努めた。 ● 平和やオリンピックについて学ぶ「夏休み平和子ども教室」において、関連本の紹介やおはなし会を開催した。 ● 平和啓発事業の一環として、市民活動センタープラッツにおいて、図書館おはなしボランティアによるオリンピック関連の絵本の読み聞かせなどを行った。

<目標3 読書推進体制の整備>

(1) 子ども読書活動推進委員会の開催	<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもの読書活動の推進に向けて関係部署との連携・協力を進めるため、推進委員会を定期的で開催し、毎年度、各事業の進捗状況を確認した。
(2) 「おはなしキャラバン」の開催	<ul style="list-style-type: none"> ● おはなしボランティアグループ「絵本だいすき」との協働により、美術館や郷土の森総合体育館などの市内の公共施設を巡り、1・2歳児とその保護者を対象に、わらべうたや絵本の読み聞かせなどを行う「絵本だいすきおはなしキャラバン」を年2回（春・秋）開催した。 ● 令和4年度から、参加者がボランティアに質問ができる時間を設け、保護者の読み聞かせにおける悩みの解消に努めた。

(3) 府中市立図書館サービス検討会議・府中市図書館協議会との連携	<ul style="list-style-type: none"> ● 学識経験者、学校教育関係者や公募による市民等で構成される府中市立図書館サービス検討会議(令和元年度からは府中市図書館協議会)への報告及び意見聴取を行った。
(4) 地域連携による読書活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 「府中市生涯学習サポーター⁹」と連携し、読書活動の推進に努めた。 ● 文化センターと市立図書館が連携し、文化センターで実施される催しでおはなし会を実施した。
(5) 市立図書館と学校図書館の連携	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校図書館担当者連絡協議会に市立図書館職員が参加し、情報共有を行った。 ● 市内の公立小・中学校で利用頻度の高い調べ学習のテーマや、学校から要望のあったテーマを反映した学級貸出セットを増やすなど、学級貸出の充実を図った。

<目標4 人材の育成・活用>

(1) 職員の養成研修	<ul style="list-style-type: none"> ● 職員の専門性や知識の向上を図るため、市立図書館職員が専門的な研修に参加するとともに、職員間で研修内容の共有を図った。
(2) 市民の養成研修	<ul style="list-style-type: none"> ● 市民対象の「読み聞かせ講習会」を実施した。 ● 市立図書館職員が、おはなしボランティアグループや学校の読み聞かせボランティアなどの団体に対して、読み聞かせや絵本に関する講座を行う「ふちゅうカレッジ出前講座」を実施した。
(3) 市民ボランティアの仕組みづくりと活動支援	<ul style="list-style-type: none"> ● 市民ボランティアに対して、中央図書館「おはなしのへや」及び「ボランティアルーム」の貸出しを行った。 ● 絵本の読み聞かせを行う社会教育関係団体に対して、文化センターや生涯学習センターの施設の貸出しや広報への協力を行った。
(4) ボランティアとの連携	<ul style="list-style-type: none"> ● 図書館おはなしボランティアとの協働により、毎月図書館全館において定例おはなし会を実施した。 ● 図書館おはなしボランティアを対象とした「ステップアップ講座」を開催した。 ● 中央図書館において、ボランティアが作成する布の絵本の蔵書の充実を図った。

<目標5 啓発・広報>

(1) 「子ども読書の日」の取組	<ul style="list-style-type: none"> ● 3歳以上の子どもを対象とした「おはなしいっぱい」を中央図書館において開催した。 ● 1・2歳児とその保護者を対象とした「絵本だいすきおはなしキャラバン(春)」を市内各所で開催した。 ● 市立図書館において、設定したテーマに関する図書を借りるごとにシールをプレゼントする読書キャンペーンを全館で実施した。
(2) 「子ども読書月間」の取組	<ul style="list-style-type: none"> ● 1・2歳児とその保護者を対象とした「絵本だいすきおはなしキャラバン(秋)」を市内各所で開催した。 ● 心身障害者福祉センター「きずな」において、布の絵本やさわる絵本の展示とパンフレットの配布を行った。

(3) 推薦図書リストの作成及び配布	<ul style="list-style-type: none"> ● 乳幼児向けの推薦図書リスト「いっしょによもうよ0～2さいのえほん」、小・中学生向けの推薦図書リスト「とっておきの本100さつ」、「とっておきの本30冊」、読み聞かせを行う大人向けのリスト「読み聞かせに向く絵本のリスト」等を作成・配布した。
(4) 各分野における情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ● 市立図書館のYAコーナーを紹介するちらしを作成し、市立中学校・市内都立高等学校に配布した。 ● 乳幼児向けの絵本に関する記事を「Fu-CHUこそだてサイトふわっと」内に掲載した。 ● 市立図書館ホームページのリニューアルに伴い、「こどものページ」と「YAのページ」の改訂を行った。
(5) 市立図書館見学、職場訪問及び職場体験の取組	<ul style="list-style-type: none"> ● 小学校の市立図書館見学、中学生・高校生を対象とした職場訪問や職場体験などの受入れを実施した。

【事例紹介①】市立小学校の読書活動

「読書の世界を広げる読書活動と学校図書を活用するための環境整備」 ～武蔵台小学校の取組～

〈読書の世界を広げる読書活動〉

1 全校児童参加のビブリオバトル¹⁰

全校児童参加のビブリオバトルは、令和2年度に始まりました。3年生以上の国語の年間指導計画に位置付け、まずは学級で取り組みます。その後、図書委員会主催でバトラー（発表参加者）として参加したい児童を募集して予選を行い、集会の時間に全学年が投票し、本選を行います。紹介された本を学校図書館に展示すると、あっという間に借りられるほど、印象に残るスピーチができるようになっていきます。



▲ビブリオバトルの様子

2 全教職員によるおすすめの本の紹介・展示

読書旬間に「図書通信」を発行し、人気のあった本や公共図書館の活用方法などの記事を載せています。2学期には毎年全教職員のおすすめの本を掲載し、学校図書館に展示しています。

3 図書委員会による読書クイズ

本を読むと答えられるクイズをカウンターに置いておき、チャレンジするとしおりがもらえる、という企画を実施したところ、学校図書館に来る児童が飛躍的に増えました。しおりは新着図書のカバーのきれいな部分を切り抜き、ラミネート加工をしてリボンをつけて作成しました。また、学校図書館の書架に、三択クイズを掲示し、図書集会で「お話の続きはどうなるでしょう？」というテーマで問題を出しました。

4 読書貯金・読書すごろく

令和3年度に「全校で年間1万冊の本を借りよう！」という目標を達成することができたので、令和4年度は1万3千冊を目標にしました。目標が高くなり、達成できないかもしれないという時期に、図書委員の発案で学級ごとの「図書館に来て本を借りたら1マス進めるすごろく用紙」を用意したところ、来館者が増えました。

〈学校図書を活用するための環境整備〉

1 情報センターとしてのハード面の整備

特設が多かった書架を、日本十進分類法にのっとって全ての図書を並べ替えました。年度初めのオリエンテーション用に、分類記号を読めるようになるためのワークシートも作成しました。また、レターケースにリーフレット・パンフレットを学年別に収納し、調べ学習や行事の事前指導に活用できるようにしました。

2 ブックリストの作成

校内研究の「読書指導分科会」のメンバーを中心に、全教科にわたり、学習に位置付けられるブックトークに使える本のリストを全学年分作成し、データとして保管しています。並行読書¹¹に使える図書一覧、物語の読みやすさを表にしたもの（宮澤賢治の作品など）も併せて保存しています。

【事例紹介②】市立中学校の読書活動

「二中学生は、この100冊を読もう！『二中の100冊』プロジェクト」 ～府中第二中学校の取組～

「二中の100冊」は、二中学生が二中学生である間に読んでほしい本が選ばれています。絵本や話題になった本、小さい頃に読んだおとぎ話の原作、不朽の名作など、バラエティに富んでいます。

「二中の100冊」の本のブックポケットに感想用紙が入っており、読後に感想を書いて提出します。二中学生が読んだ「二中の100冊」の感想は、図書室や廊下に掲示しています。友達を読んだ本の感想を読んで興味を持ち、その本を手取る人も多く、「二中の100冊」の輪が広がっています。卒業前の3年生が後輩に紹介しようと「二中の100冊」を読む姿も見られました。

＜生徒の感想より＞

「読書は苦手で、どの本を読めばいいか分からなかったけれど、司書の先生が紹介してくれた本は読みやすく面白かった。今度他の本も読んでみたい。」（1年生）

「友達の感想を読んで、面白そうだなと思った本を読んでみた。自分の感想を読んだ人が、自分と同じように興味をもってくれたらうれしい。」（2年生）

「二中の100冊の中には、普段自分では選ばないジャンルの本もあったので、いろいろな本を読めた。卒業するまでに100冊読破したい。」（3年生）

二中の100冊 一覧 <small>読んだ本の□にチェックを入れよう！</small>					
あ行 <input type="checkbox"/> 青い鳥 <input type="checkbox"/> 赤毛のアン <input type="checkbox"/> 明日へつづクリズム <input type="checkbox"/> 明日もまだ生きていこう <input type="checkbox"/> 穴 HOLES <input type="checkbox"/> あのことろ <input type="checkbox"/> アルケミスト <input type="checkbox"/> アントキノイノチ <input type="checkbox"/> アンネの日記 <input type="checkbox"/> 伊豆の踊子・野鳩の墓 <input type="checkbox"/> 一瞬の風になれ <input type="checkbox"/> 海と毒薬 <input type="checkbox"/> 永遠の0 <input type="checkbox"/> 読めない絵本 <input type="checkbox"/> オズの魔法使い <input type="checkbox"/> 第の戦争	<input type="checkbox"/> 植物図鑑 <input type="checkbox"/> シートン動物記 <input type="checkbox"/> 杉原千景物語 <input type="checkbox"/> スタンド・バイ・ミー <input type="checkbox"/> 輝しくれ <input type="checkbox"/> そこに僕はいた <input type="checkbox"/> それから <input type="checkbox"/> それでも、日本人は「戦争」を選んだ <input type="checkbox"/> それでも僕は夢を見る	は行 <input type="checkbox"/> 橋はかかる <input type="checkbox"/> パスワードは、ひ・み・つ new <input type="checkbox"/> ハッピーバースデー <input type="checkbox"/> はてしない物語 <input type="checkbox"/> バッテリー <input type="checkbox"/> ファーブル昆虫記 <input type="checkbox"/> 不思議の国のアリス <input type="checkbox"/> 豚の死なない日 <input type="checkbox"/> 変身 <input type="checkbox"/> ぼくを探しに <input type="checkbox"/> 星空ロック <input type="checkbox"/> 星の王子さま <input type="checkbox"/> ほたるの光は、なぜだけ <input type="checkbox"/> 坊ちゃん			
か行 <input type="checkbox"/> 海賊とよばれた男 <input type="checkbox"/> 怪物語 <input type="checkbox"/> 風が強く吹いている <input type="checkbox"/> 家族百景 <input type="checkbox"/> 語り継ぐ者 <input type="checkbox"/> カモメのジョナサン 完成版 <input type="checkbox"/> カラフル <input type="checkbox"/> ガリバー旅行記 <input type="checkbox"/> 毒蜂のリンゴ <input type="checkbox"/> 銀河鉄道之夜 <input type="checkbox"/> クリスマス・キャロル <input type="checkbox"/> 黒い雨 <input type="checkbox"/> 心を繋げる。	<input type="checkbox"/> 大草原の小さな家 <input type="checkbox"/> ダイブ！！ <input type="checkbox"/> 太陽の子 <input type="checkbox"/> 宝島 <input type="checkbox"/> 種をまく人 <input type="checkbox"/> チーズはどこへ消えた？ <input type="checkbox"/> チョコレート工場秘密 <input type="checkbox"/> 沈黙 <input type="checkbox"/> テレジンの小さな画家たち <input type="checkbox"/> 天国の本屋～花火 <input type="checkbox"/> 天地明察 <input type="checkbox"/> 東京タワー <input type="checkbox"/> 徳川家康 <input type="checkbox"/> 小さな労働者 <input type="checkbox"/> 飛ぶ教室 <input type="checkbox"/> トムは真夜中の庭で <input type="checkbox"/> とんひ <input type="checkbox"/> ぐいのおかしら	さ行 <input type="checkbox"/> 最後のひと葉 <input type="checkbox"/> 時のこころを讀む <input type="checkbox"/> 車輪の下で <input type="checkbox"/> 樹木/ハカセになろう	<input type="checkbox"/> だるまのトットちゃん <input type="checkbox"/> 未来いそび <input type="checkbox"/> 紫えよ剣 <input type="checkbox"/> モモ <input type="checkbox"/> 門	や行 <input type="checkbox"/> 友情 <input type="checkbox"/> 容疑者Xの献身 <input type="checkbox"/> 夜のピクニック	ろ・わ行・その他 <input type="checkbox"/> 流星の絆 <input type="checkbox"/> 電馬がゆく <input type="checkbox"/> レインツリーの国 <input type="checkbox"/> 老人と海 <input type="checkbox"/> ロビンソン・クルーソー <input type="checkbox"/> ロミオとジュリエット <input type="checkbox"/> わたしはマララ <input type="checkbox"/> High and dry (はつ歌) <input type="checkbox"/> TUGUMI つぐみ <input type="checkbox"/> 4TEEN

＜二中図書館の工夫＞

1 本を手に取りたくなる館内展示

図書展示は、図書委員や学校図書支援員が作成しています。



運命の一冊との出会い・・・
「目が合ったら運命の本」展示



図書委員作成の「SDGs」展示

SDGs 展示
の作成中



やっぱり本が好き・・・
「本や図書館が舞台の本」展示

2 図書館から生徒・家庭への発信

図書委員による図書新聞や学校図書支援員による図書だよりを発行し、イベントや新着図書紹介等を定期的に行っています。

3 公共図書館、各教科とのつながり

生徒が自校の図書館だけでなく、公共図書館を利用できるように、4月のオリエンテーションで本の分類や配架を学びます。その後、本探しゲーム（書誌情報が書いてあるカードを見て本を探すこと。）をして、全員が1冊本を借り、奥付を見ながら、参考文献を記入します。さらに、つながる1冊として、自分が借りた本と同じテーマで違う分類の本を選びます。そして、本を選んだ理由、参考文献などを記入します。

校外学習の事前学習や社会科等の授業で、調べ学習をするときは、公共図書館から学級貸出を行い、多くの資料から自分の調べたいことが調べられる環境を整備しています。

「読む・聞く・書く・話す」力を付けるために、国語科の授業で全学級がブックトークを行っています。また、図書委員会主催の企画として、図書館でビブリオバトルも行いました。

【事例紹介③】高等学校の読書活動

読書環境の整備 ～都立府中高等学校の取組～

1 「図書倶楽部」の発行

年に2回、図書委員会が「図書倶楽部」を発行しています。内容は、図書委員会のメンバーや新しく配属された先生方、教育実習に来た先生方のおすすめの本の紹介がメインになっています。

2 ポップの作成

「図書倶楽部」で紹介した本は、図書委員会がポップを作成しています。内容や面白さなどを絵や写真を用いて表現して、図書館の棚に並べています。



▲「図書倶楽部」(2022年 夏号・冬号)

3 カウンター当番、蔵書点検

定期考査前を除き、昼休みは図書委員が貸出し・返却等のカウンターの仕事をしています。夏季休業中にも蔵書点検の手伝いをシフト制で行い、図書委員全体で図書館に関わるようにしています。

4 長期休業前の読書週間・特別貸出しの実施

春休み・夏休み・冬休み前に、府中高校独自の読書週間を設けています。この期間中は、貸出冊数が無制限になり、返却日も始業式後一週間以内と大幅に延びるため、本の貸出しが一気に増加します。

5 高校生書評合戦(ビブリオバトル東京都大会)への出場

コロナ禍で縮小開催となっていましたが、昨年度は図書委員がポスターを作成し、ビブリオバトル参加者を校内で募りました。放課後や昼休みに練習を行い、本校から一名、都大会に出場しました。

その他にもリクエストのあった本を積極的に取り入れて学校図書館の充実を図り、読書意欲を喚起する環境を整えるよう取り組んでいます。

【事例紹介④】市立保育所の読書活動①

北山保育所 おはなし会

<もも組>

初めてのおはなし会でした。
子どもたちがよく知っている手遊びの導入で子どもたちの視線をくぎづけ。

絵本も楽しんで見ることができていました。



<さくら組>

外部の方のおはなし会ということで、担当の読み聞かせとはちょっと違う雰囲気になって見入っていました。



プログラム



もも組

- ♪ グーチョキパーでなにつくろう
- ♪ くまさんくまさん
- ちいさなねこ
- おべんとう
- ♪ おべんとうばこのうた
- ちびゴリラのちびちび
- ♪ さよならあんころもち

さくら組

- ♪ グーチョキパーでなにつくろう
- ♪ くまさんのおでかけ
- こぶたたんぼぼぼけっととんぼ
- おにぎり
- ♪ ピクニック
- ふくろにいれられたおとこのこ
- ♪ さよならあんころもち

【事例紹介⑤】市立保育所の読書活動②

美好保育所 おはなし会

おはなしボランティアの方々に来ていただくことを
子どもたちはいつも楽しみにしています！



< 3歳児クラス >

幼児クラスになって、
初めてのおはなし会。
何が始まるかな？と
興味津々。ぬいぐるみの
登場や、絵本の読み
聞かせ、手遊びと盛り
だくさんの内容に、夢
中になる子どもたちで
した。



< 4歳児クラス >

今年度2回目のお
はなし会。楽しいお話
が始まると分かるの
で、子どもたちは集中
してボランティアの方
に注目します。初め
ての手遊びも、よく見
て楽しそうに真似し
ていました。



第2章 現状と課題

1 国や東京都の動向

(1) 国

平成13年12月に子どもの読書活動の推進に関する法律が施行されました。この法律は、子どもの読書活動推進に関する基本理念を始め、国や地方公共団体の責務や、保護者の役割、子ども読書の日等について規定するとともに、国には「子ども読書活動推進基本計画」の策定をしなければいけないことを、また、都道府県及び市町村には「子ども読書活動推進計画」の策定に努めなければいけないことを規定しています。国は、平成14年に「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」（第一次）を策定し、平成20年に第二次基本計画、平成25年に第三次基本計画、平成30年に第四次基本計画を策定しました。

そして、令和5年度に策定した第五次「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」では、新型コロナウイルス感染症の拡大以降に、1か月に本を1冊も読まない子どもの割合（以下「不読率」といいます。）が上昇した調査結果や、各学校の臨時休校や図書館の臨時休館等が子どもの読書活動に影響を与えた可能性について触れられています。そして、「不読率の低減」、「多様な子どもたちの読書機会の確保」、「デジタル社会に対応した読書環境の整備」及び「子どもの視点に立った読書活動の推進」の4つの基本の方針を掲げ、社会全体で子どもの読書活動を推進する必要があるとしています。

(2) 東京都

東京都は、平成15年3月に「東京都子ども読書活動推進計画」（第一次）を策定し、その後、平成21年に第二次計画、平成27年に第三次計画、そして令和3年に第四次計画を策定しました。

第四次計画の基本方針は、「学校（園）、図書館、家庭・地域、行政が連携して都内の子供の読書環境を整え、子供の主体的・自発的な読書活動を、その発達段階に応じて推進していく」こととしています。そして、「乳幼児期からの読書習慣の形成」、「学習の基盤となる資質・能力の育成のための読書活動の推進」、「特別な配慮を必要とする子供の読書環境整備の推進」及び「読書の質の向上」の4つを目指としています。

2 SDGsとの関連

平成27年の国連サミットで、持続可能な開発のための2030アジェンダが採択され、令和12年までの国際社会共通の目標として、持続可能な開発目標（SDGs）が打ち出されました。このSDGsは、持続可能で多様性と包摂性のある社会を実現するため、17の目標を提示しています。

日本においては、平成28年に国がSDGs実施指針を決定して取組を進めています。地方公共団体においても、SDGsの理念を踏まえ、持続可能な地域づくりに向けて、地域の企業や市民と協働して、目標達成に寄与する施策を積極的に推進することが求められています。

令和4年度から令和11年度までの8年間を計画期間とする「第7次府中市総合計画」では、施策ごとにSDGsの各目標との関連について記載されています。そのため、本計画では「4 質の高い教育をみんなに」、「16 平和と公正をすべての人に」及び「17 パートナーシップで目標を達成しよう」の3つの目標を掲げ、各目標の達成に向けて取組を推進していきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

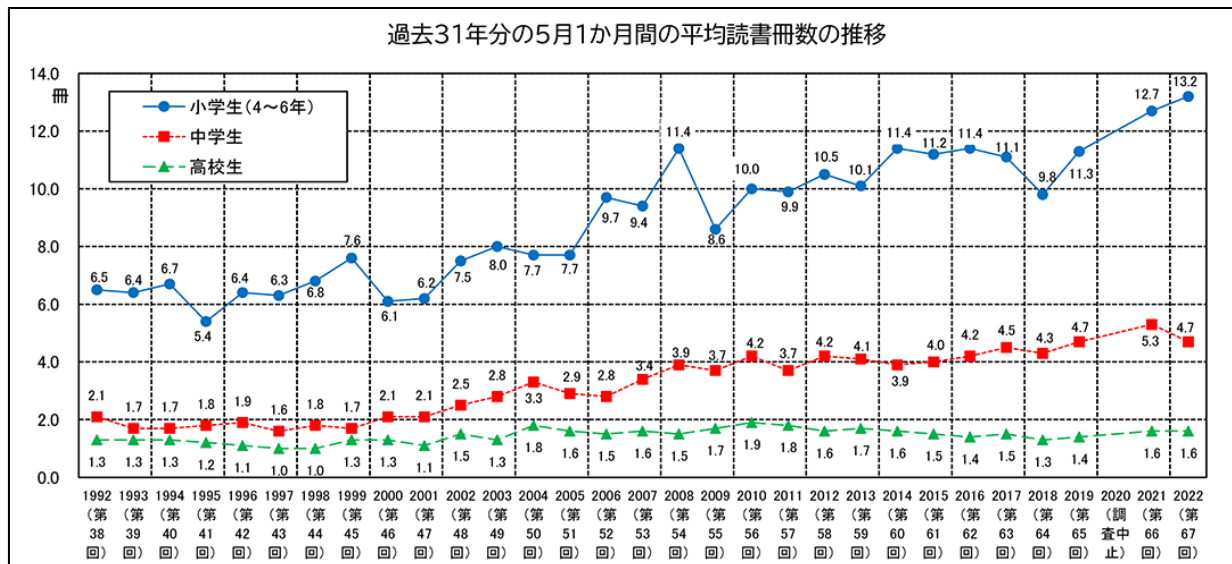


〈出典〉国際連合広報センター資料

3 子どもの読書活動の現状

(1) 全国の現状

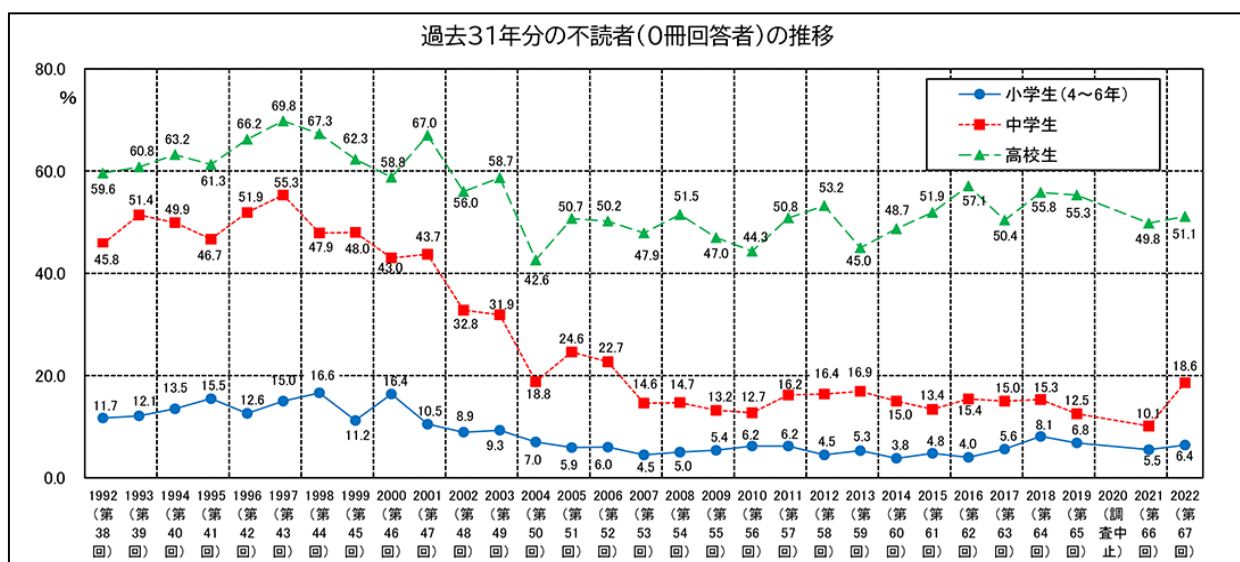
公益社団法人全国学校図書館協議会は、全国の小学4年生から高校3年生までを対象に「第67回学校読書調査」を実施しました。



(「第67回学校読書調査」全国学校図書館協議会より)

令和4年(2022年)5月の1か月間の平均読書冊数は、小学生が13.2冊、中学生が4.7冊、高校生が1.6冊でした。

子どもの読書活動の推進に関する法律が制定された平成13年(2001年)から平均読書冊数の推移を見てみると、小・中学生は増加傾向にあります。



(「第67回学校読書調査」全国学校図書館協議会より)

令和4年(2022年)の不読者(5月の1か月間に読んだ本の本数が0冊の児童・生徒)の割合は、小学生が6.4パーセント、中学生が18.6パーセント、高校生が51.1パーセントでした。

子どもの読書活動の推進に関する法律が制定された平成13年(2001年)から不読者の推移を見てみると、学年が上がるごとに不読者が増加する傾向は変わっていません。なお、いずれの世代も改善傾向にありましたが、令和4年(2022年)の調査時では、いずれの世代も前年度より不読者が増加しました。

(2) 東京都の現状

東京都教育委員会は、令和4年度に都内の公立学校の児童・生徒(小学生から高校生ままで)を対象に「子供読書活動推進に関する調査」を実施しました。

ア 1か月に「本」を読んでいない児童・生徒の割合(%)

学年	年度	H25	H27	H29	R1	R4
小2		2.6	3.3	3.3	2.9	4.4
小5		5.4	5.0	3.7	4.2	5.1
中2		13.2	11.1	11.1	9.9	10.3
高2		31.8	36.8	28.8	30.6	33.4

(「令和4年度子供読書活動推進に関する調査の集計結果」東京都教育委員会より)

不読率は、平成25年度の調査結果と比較して、小学2年生と高校2年生は増加しましたが、小学5年生と中学2年生は減少しました。

イ 「本」を読まなかった理由【複数回答可】(%)

理由	年度	R1	R4
読みたい本がなかったから		37.0	39.5
本を読む時間がなかったから		36.2	33.9
本を読むことに興味がないから		39.1	41.1
文章を読むこと、字を見ることがきらいだから。めんどうだから		16.9	16.8
どれもあてはまらない		9.3	7.0
無回答		4.9	4.4

(「令和4年度子供読書活動推進に関する調査の集計結果」東京都教育委員会より)

令和元年度の調査結果と比較して「読みたい本がなかったから」、「本を読むことに興味がないから」という回答の割合が増加しました。

(3) 府中市の現状

本市では、令和5年度に市内の小・中学校及び都立高等学校の児童・生徒並びに乳幼児・児童・生徒の保護者を対象に、読書に関するアンケート調査を実施しました。主な調査結果は次のとおりです(全調査結果は47ページ以降に掲載しています)。

ア 読書が「好き・すこし好き」と答えた児童・生徒の割合（％）

学年 \ 年度	H 2 4	H 2 9	R 5
小学生	7 8 . 8	8 4 . 4	8 9 . 1
中学生	8 1 . 6	7 7 . 7	7 1 . 3
高校生	7 0 . 3	7 3 . 1	6 8 . 1

（「府中市子ども読書活動推進計画」に関するアンケート調査の結果（第3期・第4期・第5期）」府中市より）

読書が「好き・すこし好き」と答えた児童・生徒の割合は、平成24年度からの推移を見てみると、小学生は増加傾向に、中学生は減少傾向にありますが、高校生はあまり変化が見られませんでした。

イ 不読率（％）

学年 \ 年度	H 2 4	H 2 9	R 5
小学生	3 . 6	3 . 6	3 . 4
中学生	8 . 9	8 . 6	6 . 8
高校生	5 5 . 4	5 1 . 8	5 2 . 2

（「府中市子ども読書活動推進計画」に関するアンケート調査の結果（第3期・第4期・第5期）」府中市より）

不読率は、平成24年度の調査結果と比較して、わずかではありますが各世代で減少傾向にあります。

ウ 読まなかった理由【小学生】（％）

理由 \ 年度	H 2 9	R 5
時間がないから	4 1 . 6	4 0 . 0
読みたい本がないから	1 6 . 6	0
どんな本を選べばいいかわからないから	—	0
読むことが嫌いだから	1 6 . 6	2 0 . 0
他の遊びの方がおもしろいから	2 5 . 0	4 0 . 0
新型コロナウイルスの影響で本を買ったり借りたりできなかったから	—	0

（「府中市子ども読書活動推進計画」に関するアンケート調査の結果（第4期・第5期）」府中市より）

平成29年度の調査結果と比較して「読むことが嫌いだから」、「他の遊びの方がおもしろいから」という回答の割合が増加しました。

エ 学校図書館の利用率【1週間に1回以上】（％）

学年 \ 年度	H 2 4	H 2 9	R 5
小学生	9 0 . 1	3 8 . 1	4 0 . 8
中学生	4 3 . 9	2 8 . 1	1 2 . 5
高校生	1 3 . 7	7 . 9	8 . 9

（「府中市子ども読書活動推進計画」に関するアンケート調査の結果（第3期・第4期・第5期）」府中市より）

1週間に1回以上学校図書館を利用する割合は、平成24年度の調査結果と比較すると、全世代で減少傾向にあります。

オ 市立図書館の利用率【1週間に1回以上】(%)

学年 \ 年度	H 2 4	H 2 9	R 5
小学生	22.2	25.2	25.8
中学生	15.0	10.5	4.1
高校生	6.1	7.1	3.2

(「府中市子ども読書活動推進計画」に関するアンケート調査の結果(第3期・第4期・第5期) 府中市より)

1週間に1回以上市立図書館を利用する割合は、平成24年度からの推移を見てみると、小学生と高校生ではあまり変化は見られませんが、中学生では減少傾向が見られます。

4 課題と方向性

(1) 本への興味

本市が実施したアンケートの結果によると、「読書が好き」または「すこし好き」と答えた児童・生徒の割合は、小学生は約90パーセント、中学生と高校生はともに約70パーセントとなっており、ここ10年の推移で見ると、小学生で増加傾向、中学生で減少傾向、高校生で横ばいとなっています。小学生については、読書の楽しさを伝えるため、地区図書館を含む全ての市立図書館で定例おはなし会を実施していること、「朝読書の時間」や「読書週間」等の読書活動の取組により、子どもの読書習慣の形成を積極的に促していることが影響していると考えられます。

引き続き、図書館や学校、家庭などにおいて、身近な大人が読書の楽しさを伝えていく活動を継続するとともに、中学生・高校生に対して読書への興味を刺激する取組を行うことが求められています。

(2) 不読率

不読率については、国や東京都、本市の調査結果では、学年が上がるごとに増加する傾向は変わっていませんが、30年前と比べていずれの世代も改善傾向にあります。なお、国や東京都の令和4年度調査の結果では、前回調査と比較すると不読率は増加しましたが、令和5年度に実施した本市の調査では、小・中学生は若干改善が見られました。

新型コロナウイルス感染症の拡大による学校の一斉休校や市立図書館の臨時休館、様々な活動自粛により、子どもたちの生活環境は大きく変化しました。そのような環境の中で、本市の小・中学生の不読率の改善は、周りの大人が子どもの読書推進活動を地道に続けたことが影響していると考えられます。

また、本を読まなかった理由については、東京都や本市の調査では「興味がないから」や「読むことが嫌いだから」の回答の割合が増加するとともに、本市の調査では「他の遊びの方がおもしろいから」の回答の割合が大幅に増加しました。インターネットやオンラインゲームなどの普及により、子どもを取り巻く環境の変化が著しい現代において、子どもたちが読書に興味を持てるよう関係各所が連携し、魅力的な取組を実施していくことが求

められます。

(3) 施設の利用状況

学年が上がるごとに、市立図書館及び学校図書館の双方の利用率が下がる傾向にあります。

また、市立図書館及び学校図書館に行かない理由については、どの世代においても「時間がないから」という回答が多数を占めていました（60・61ページ参照）。また、市立図書館に行かない理由については、「図書館の場所がわからないから」の回答が、平成29年の調査と比べて小学生と中学生で増加しました（61ページ参照）。増加した要因としては、新型コロナウイルス感染症の拡大による市立図書館の臨時休館や、社会科見学・職場体験等の学校の取組の中止、不要不急の外出制限等により、市立図書館へ足を運ぶ機会が減少したことなどが考えられます。

社会科見学や職場体験の受入れなどを継続するとともに、市立図書館のPRや、読書に関心を持ってもらえるような工夫、気軽に本や読書に親しんでもらえる環境づくり・取組が必要です。



▲YAルーム（中央図書館）



▲職場体験生が作成したポップと本の展示
（中央図書館YAコーナー）

第3章 計画の基本構想

1 計画の目指す姿と7つの視点

本市では、子どもの読書活動を推進するため、次のとおり本計画の目指す姿及び施策推進のための「7つの視点」を定めます。

【目指す姿】

市と市民の協働により、子どもの読書環境がより一層整備され、子どもが本を楽しみ、読書する力を身に付け、個性豊かで、健やかに成長し、人生をより豊かに生きている。

【施策推進のための「7つの視点」】

(1) 子どもの自主性から生まれる読書

読書は、自由で個人的な営みです。読書を強制するのではなく、読書環境を整備することにより、子どもの自主性から生まれる読書を支援します。

(2) 子育ての中の読書

子どもの身体の成長にバランスのとれた栄養が必要であるように、子どもの心の成長には、周囲の愛情や仲間との遊び、様々な体験や学習が必要です。その中の重要な要素の一つとして、読書を位置付けます。

(3) 習慣としての読書

読書が日常的な習慣として行われるよう、本に親しめる環境を整備するとともに、子どもの発達段階に応じた読書への働き掛けを行います。

(4) 生涯学習としての読書

生涯学習における読書の役割は重要です。子どもの読書活動を生涯学習の入口と位置付けます。

(5) 情報社会における読書

本や新聞、雑誌やテレビなどと並列し、インターネットという情報供給源が、子どもにとってより身近に存在している現状において、子どもたちが様々な情報の中から正しい情報を取得できるよう、情報リテラシー¹²の育成及び向上を図るための支援を行います。

(6) 市立図書館と学校図書館の連携による読書

子どもが日常的に利用する市立図書館と学校図書館が、互いに資料の充実を図り、更に連携して充実した読書環境を整えます。

(7) ボランティアや地域住民との連携による読書

読書環境の充実を広く図るためには、市とボランティア及び地域住民との連携が必要です。活動の場の提供や様々な情報交換、交流などを行います。

2 計画目標

目指す姿及び施策推進のための「7つの視点」に基づき、次のとおり5つの目標を設定します。

計画目標

1 子どものための読書環境の拡充

市立図書館や学校図書館等の施設において、子どもが本に親しむための読書環境を拡充します。

2 子どもと本との出会いの機会の提供

家庭、地域、学校及び図書館が連携して、子どもの発達段階に応じた本との出会いの機会を提供します。

3 読書活動推進体制の整備

子どもの読書活動を支えていくために、子どもに関わる関係施設や関係部署、地域の市民団体などが連携して、読書活動を推進します。

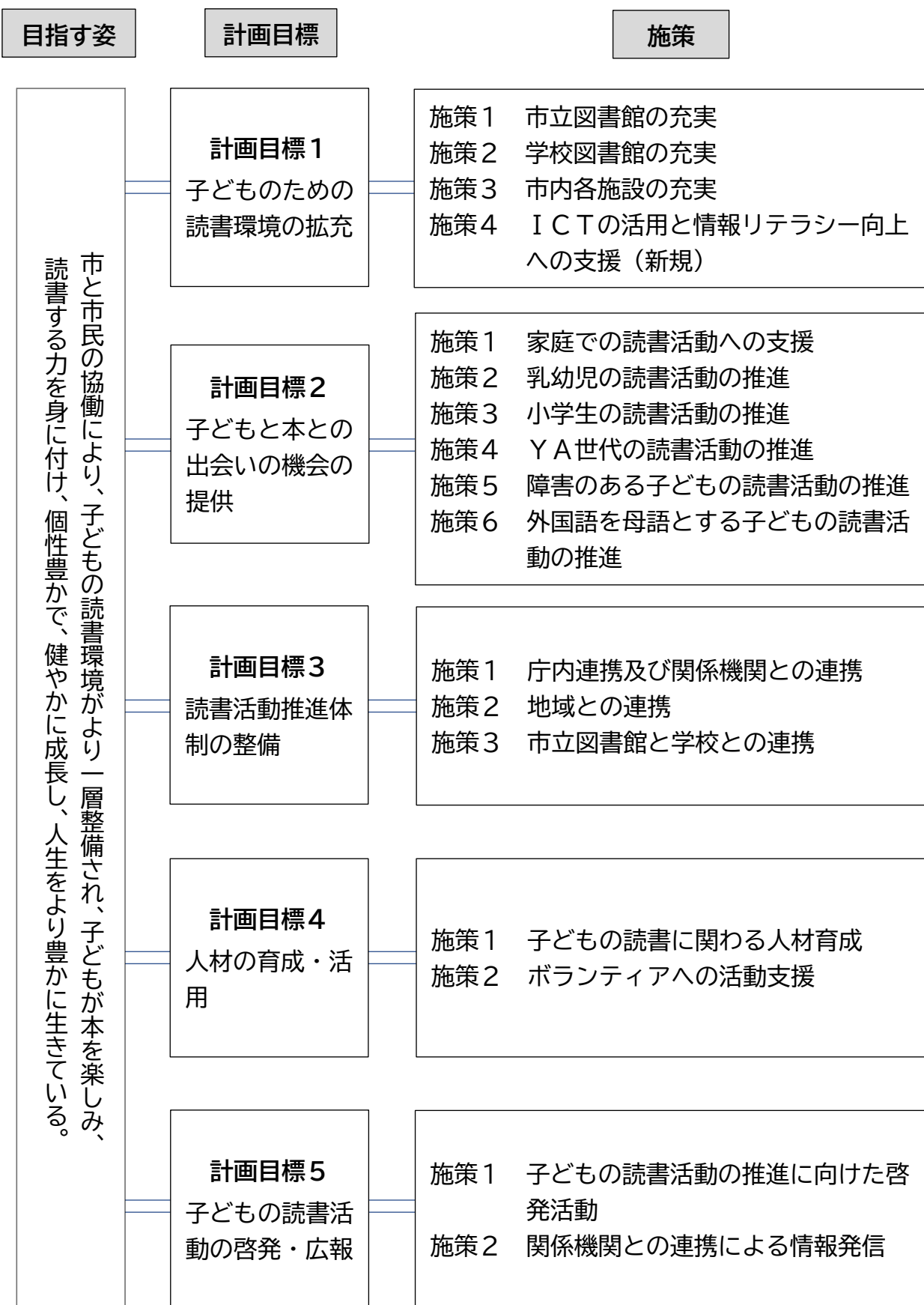
4 人材の育成・活用

子ども読書活動の取組を推進するために、人材を育成し、活動の担い手を増やします。

5 子どもの読書活動の啓発・広報

子どもだけでなくその保護者等も対象に、読書の意義や楽しさについて啓発し、読書活動に関する事業の情報を提供します。

3 施策の体系



第4章 目標別の施策

計画目標1 子どものための読書環境の拡充

施策1 市立図書館の充実

現状と課題

市立図書館は、中央図書館と12か所の地区図書館をサービス拠点として、多くの利用者層に向けた資料提供などの役割を担っています。また、子どもが本と出会い、読書を楽しむ機会を提供する場でもあります。

中央図書館は、サービス拠点の中核として、幅広い利用者のニーズに対応できる体制を整えており、地区図書館をサービス面からバックアップする役割を担っています。地区図書館は、市内の各地域の情報発信の拠点として、それぞれの地域に根ざした図書館サービスを提供する役割を担っています。また、市政情報センターでは、予約した図書館資料の取次ぎと返却を行っています。

子どもたちが身近な環境で本と出会い、読書に親しめる機会を持てるように、幅広い資料の充実と読書環境の拡充に努めるとともに、情報通信技術の発展に伴い、時代のニーズに合った様々な媒体による資料の充実や情報収集に努める必要があります。

図書館の利用方法や本の探し方について分かりやすく案内し、子どもにとっても利用しやすい環境整備に努めていますが、より多くの子どもたちが利用できるよう、更なる工夫が必要です。

施策の方向性

○ 中央図書館は、子どもたちが身近な環境で本と出会い、読書に親しめる機会を持てるよう、幅広い資料の充実とレファレンス¹³機能の強化などにより、読書環境の拡充に努め、利用者の増加を図ります。

また、図書館職員が推奨する図書を配架するコーナーを設置するほか、中学生・高校生を中心とするYA世代のコミュニケーションの場であるYALームを充実させていきます。

○ 地区図書館は、子どもたちが最初に出会う図書館となるケースも多く、子どもたちは成長するにつれ、一人で近くの地区図書館へ足を運び、身近な環境の中で本に親しむ機会を持つことができると考えられます。

子どもたちが本に親しみ、読書を日常生活の一部に感じてもらえるよう、限られたスペースの中で工夫を行い、魅力的な図書館を目指します。また、中央図書館とは異なる、地区図書館としての役割を意識しながら地域に根ざした図書館運営を展開していきます。

○ 市政情報センターは、駅前での利便性をいかし、学習や部活動などで市立図書館に行く時間がとれない子どもたちにも図書館資料を利用してもらえるよう、図書取次業務を実施していきます。

- 子どもたちがICT機器を利用し、読書や学習に活用できるよう、インターネットを通じて、市立図書館の電子書籍を借りて閲覧できる「ふちゅう電子図書館」の充実に努めていきます。併せて、子どもが自らの力で正しい情報を選択する力をつける必要があるため、情報リテラシーの向上の支援を行います。

主な取組

取組	内容	担当
市立図書館資料の充実	児童・YA世代向け資料、紙芝居、子ども新聞、電子書籍など、様々な媒体による子ども向けの資料の充実を図る。	図書館
レファレンスや読書相談等への適切な対応	乳幼児やその保護者、YA世代等、幅広い世代からのレファレンスや読書相談に適切に対応するため、調べ学習用の資料の充実や、対応する職員の専門知識の向上に努める。	図書館
特集コーナー及びYAコーナーの充実	乳幼児やその保護者、YA世代等が興味・関心を持ち、手に取りやすいよう、テーマに沿った資料を展示する特集コーナーの充実を図る。また、YA世代の情報共有や情報収集の場として、引き続き、学校案内や職業案内等の資料整備に努めるとともに、YA世代が関心を持つテーマ展示やイベント開催等により、YAコーナーの充実に努める。	図書館
地区図書館の充実	地区図書館が設置されている施設の大規模改修等の機会を捉え、読み聞かせを行うスペースを確保するなど、子どもたちにとって、より魅力のある地区図書館となるよう検討を行う。 また、地区図書館が配置されている各文化センター等と連携し、子どもの読書活動推進につながるイベントを実施する。	地域コミュニティ課・文化生涯学習課・図書館

施策2 学校図書館の充実

現状と課題

学校図書館は、図書館資料を児童・生徒及び教員の利用に供することによって、学校の教育課程の展開に寄与するとともに、児童・生徒の健全な教養を育成することを目的としています。

読書活動や様々な学習における図書館資料の利活用を通じて、子どもたちの言語能力や情報活用能力等の育成を支え、主体的・対話的で深い学びの視点からの学習を効果的に進める基盤としての役割が期待されます。

また、学校図書館は3つのセンター機能を持っており、読書センター機能では、読書による読む力と人間性の育成、学習センター機能では、資料・情報活用による言語能力や思考力の育成、情報センター機能では、情報リテラシーの育成について積極的に推進しています。

それらの機能を果たすことで、授業で蔵書・新聞等を利活用して思考力・判断力・表現力等を育むことや、探究的な学習活動等を行い、子どもの情報活用能力を育むことなどが期待されます。また、児童・生徒が落ち着いて読書を行うことができる環境や、知的好奇心を醸成する開かれた学びの場として環境を整えることで、「心の居場所」となることが期待されます。

外国語教育の充実や主権者教育¹⁴の推進などの新たなニーズのほか、特別な配慮を必要とする子どもや、外国語を母語とする子どもなど、多様なニーズに配慮した図書資料の充実が求められています。このようなニーズに応えられるよう学校司書等の資質能力の向上に努めるとともに、校舎整備などの機会を捉え、ハード面からの学校図書館の整備なども進めていく必要があります。

施策の方向性

- 児童・生徒の調べ学習等がより効果的に行われるよう、自然科学や社会科学関係の図書や新聞、図鑑等を配備します。また、子どもの多様性や新たなニーズに対応するため、マルチメディアデイジー¹⁵等のアクセシブル¹⁶な電子書籍や外国語の資料など、多様な図書の整備・充実に努めます。

また、最新の情報が記載されていない古い図書を保有している状況が見受けられることから、図書館資料の適切な廃棄・更新を進めていきます。そのため、学校図書館担当者連絡協議会で学校図書館図書廃棄規準を学ぶなど、学校図書館運営に関する情報を共有する場としていきます。

- 各学校が作成している学校図書館運営マニュアルを基に、子どもたちが利用したくなる学校図書館の運営に努めるとともに、同マニュアルをニーズや実態に合わせて更新し、より魅力ある学校図書館づくりの手引きとなるよう改善していきます。

主な取組

取組	内容	担当
学校図書館資料の充実	児童・生徒の調べ学習用として、自然科学や社会科学関係の図書や新聞等を配備するとともに、電子書籍や外国語資料等、多様な資料の整備・充実に努める。	指導室
学校図書館担当者連絡協議会の充実	学校図書館担当者連絡協議会を、市立小・中学校の読書活動推進の取組や図書館運営に関する有益な情報が得られる場とする。	指導室
建て替えに合わせた学校図書館の整備	市立小・中学校の建て替えに合わせ、児童・生徒が調べ学習や探究学習を行う際に、図書資料やICT機器を複合的に活用できるよう、学校図書館をメディアセンターとして整備する。	指導室
学校図書館運営マニュアルの更新・活用	各市立小・中学校が作成している学校図書館運営マニュアルをニーズや実態に合わせて更新し、より魅力ある学校図書館づくりの手引きとなるように改善を図る。	指導室



▲府中第一中学校のメディアセンター（図書室）



▲府中第八小学校のメディアセンター（図書室）

施策3 市内各施設の充実

現状と課題

各文化センター内に設置している児童館、心身障害者福祉センター「きずな」、子ども家庭支援センター「たち」、保育所、学童クラブ等は、子どもたちにとって身近な施設であるといえます。各施設では、自由に本に触れ合える環境を整備するため、施設の設置目的や状況に合わせ、読書コーナーや読書スペースを設置しています。今後も良質な図書を選び、更なる蔵書の充実を図る必要があります。

また、各地区図書館が配置されている文化センターでは、各文化センターのイベント時に地区図書館と連携し、おはなし会等の本に親しめるイベントを開催しています。

施策の方向性

- 児童館、心身障害者福祉センター「きずな」、子ども家庭支援センター「たち」、保育所、学童クラブ等の市内の施設では、読書コーナーや読書スペースなどの充実を図るため、市立図書館のリサイクル図書などを活用しながら、年齢に合わせた資料の蔵書を充実させ、子どもの自主的な読書活動を促していける環境づくりを行います。
- より多くの子どもたちに本に親しんでもらえるよう、地区図書館が配置されている文化センター等と地区図書館が連携し、複合施設のメリットをいかした事業を展開していきます。

主な取組

取組	内容	担当
読書コーナーや読書スペースの資料の充実	児童館、心身障害者福祉センター「きずな」、子ども家庭支援センター「たち」、保育所、学童クラブ等で設置している読書コーナーや読書スペースに配架している絵本や児童書等の充実を図る。	地域コミュニティ課・障害者福祉課・子ども家庭支援課・保育支援課・児童青少年課
リサイクル本の提供による蔵書の充実	市内の公共施設等に市立図書館のリサイクル本を提供する。	図書館
市立図書館推薦図書リストの情報提供・活用	市内の公共施設等で絵本や児童書等を購入する際の参考となるよう、市立図書館が作成したリストを各施設に情報提供する。	図書館
地区図書館及び地区図書館併設施設との連携	地区図書館が配置されている各文化センター等と地区図書館が連携し、子どもの読書活動推進につながるイベントを実施する。	地域コミュニティ課・文化生涯学習課・図書館

施策4 ICTの活用と情報リテラシー向上への支援 新規

現状と課題

市立図書館では、令和5年3月からインターネット上で電子書籍を利用することができる「ふちゅう電子図書館」を開始し、おすすめの本や教科書に掲載された本などを紹介しています。多くの子どもたちに利便性などをPRし、読書活動推進につなげることが課題です。

学校図書館では、GIGAスクール構想によって、児童・生徒に1人1台タブレット端末が配備されたことを踏まえ、言語能力や情報活用能力を育むとともに、多様な読書機会を確保し、いつでも図書等へのアクセスを可能とするため、子どもたちの健康や発達段階等に配慮しつつ、電子書籍等の利用を促進する必要があります。

子どもの年齢が上がるにつれて、インターネットやSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）を日常的に利用するようになっており、インターネットという情報供給源が子どもにとってより身近に存在している現状があるといえます。膨大な情報の中から、子どもが自らの力で正しい情報を選択する力をつける必要があります。

施策の方向性

○ 市立図書館では、電子書籍サービスにおいて、幅広いジャンルの資料を利用できるように資料の充実に努めます。また、子どもにとって親しみやすい特集ページを作成し、資料の紹介や電子書籍の魅力をPRしていきます。

さらに、子どもの学習環境の変化に合わせ、電子書籍を活用した調べ学習などの支援をしていきます。

○ 市立図書館では、子どもたちが情報リテラシーを身に付け、インターネットやSNSなどの膨大な情報の中から、正しい情報を選択する力を習得できるよう講座の実施や関連資料の充実に努めます。

○ 学校図書館では、子どもたちの情報リテラシーの向上のため、多くの情報の中から必要な情報を収集する力を育む調べ学習を充実させていきます。

また、学校図書館担当者連絡協議会を活用して、学校図書館の学習・情報センター機能に関する情報を得る機会を設けるとともに、学校図書館におけるタブレット端末の活用に関する研修を実施するなど、取組を充実させていきます。

主な取組

取組	内容	担当
電子書籍サービスの充実及び利用促進	幅広いジャンルの電子書籍の収集に努めるとともに、電子書籍の利用が促進されるよう広く周知を行う。また、電子書籍を活用した調べ学習などの支援を行う。	図書館
情報リテラシーの向上の支援	子どもたちの情報リテラシーの向上を支援するため、関係資料の収集・提供の充実に努めるとともに、情報リテラシーの理解を深めるための講座等を実施する。	図書館
デジタル社会に対応した読書環境の整備	タブレット端末で利用できるデジタル百科事典やデジタル教科書等のデジタルコンテンツの充実を図る。	指導室
学習・情報センター機能の充実	調べ学習を通じて、正しい情報を取得する能力の育成を図る。また、教員に対しては、学校図書館担当者連絡協議会を活用し、情報リテラシー育成に関する研修を実施する。	指導室

ようこそふちゅう電子図書館へ テキスト版サイトへ 府中市立図書館ホームページ

ふちゅう電子図書館 文字の大きさ 大 中 小 背景と文字の色 黒 白 黄 [ご利用ガイド](#)

トップ お知らせ 新着資料 特集 マイページ

ログイン

利用者ID

パスワード

ジャンルで探す

ナクソス・ミュージック・ライブラリー (音楽配信) >

電子雑誌ライブラリー (TRC-DLマガジン) >

図書館のおすすめ本 (小学生・中高生) >

もう一度読みたい! 教科書の名作 >

府中市および周辺地域に関する資料 >

資料を探す フリーワード検索 [+ 詳細検索](#)

利用者ID=図書館利用カード番号
パスワード=図書館のインターネットサービスのパスワード

貸出... 3点まで / 14日間
 延長... 1回まで / 手続きした日から14日間
 予約... 3点まで

[詳しくはこちら](#)

お知らせ

2023年3月1日 [電子雑誌ライブラリー \(TRC-DLマガジン\) のご案内](#)

2023年3月1日 [電子図書館のご利用について](#)

2023年2月22日 [電子図書館Q&A](#)

(「ふちゅう電子図書館」府中市立図書館ホームページより)

計画目標 2 子どもと本との出会いの機会の提供

施策 1 家庭での読書活動への支援

現状と課題

子どもが読書習慣を身に付けていく上で、最初に影響を受けるのが家庭です。保護者から絵本や物語を読み聞かせてもらったり、子ども自身が声に出して読むことに周囲が耳を傾けることで、子どもは本の楽しさを知ります。子どもの年齢にかかわらず、家庭での関わりが大切です。

本市では、家庭での発達段階に応じた読書時間の増加に向け、読書相談や推薦図書のリスト作成など、保護者に対する家庭での読書活動への支援を行っています。インターネットやSNS等の普及により、容易に情報の取得ができ、様々な娯楽や楽しみ方がある社会において、引き続き正しい情報の発信に努めるとともに、子どもたちが読書に親しむことができるよう、継続して読書の楽しみや重要性を伝えていく必要があります。

施策の方向性

- 市立図書館では、家庭の中で楽しい読書の時間が増えていくよう子どもの年代に合わせた蔵書構成を整え、保育所などの関係各所と連携しながら、保護者への情報発信や読書相談などの支援を進めていきます。
- 「ふちゅうカレッジ出前講座」や乳幼児の保護者を主な対象とした「家庭教育学級」などを活用し、家庭での読み聞かせや読書環境の作り方について、講座等を実施します。

主な取組

取組	内容	担当
読み聞かせに向く絵本及び物語の紹介	読み聞かせに向く絵本のリストや物語のリストを作成し、市立図書館ホームページに掲載する。また、保育所で読み聞かせに向く絵本を保護者に紹介する。	図書館・保育支援課
読書相談の実施	子育て世代包括支援センター「みらい」で実施する健康診査や、市立図書館に来館した保護者からの読み聞かせ及び絵本に関する相談に適切に対応する。	図書館・子ども家庭支援課
読み聞かせ講座の実施	「ふちゅうカレッジ出前講座」や「家庭教育学級」等を活用し、家庭での読み聞かせに関する講座を実施する。	文化生涯学習課・図書館

施策2 乳幼児の読書活動の推進

現状と課題

市立図書館や子ども家庭支援センター「たち」、保育所等の各公共施設では、乳幼児を対象に絵本の読み聞かせを行っています。

また、市立図書館では、読み聞かせを行う保護者やボランティアのガイドとなるよう、読み聞かせに向く絵本を掲載したリストを作成し、市内の各公共施設に配布しています。親子で読書を楽しむことができるよう、引き続き読書環境の整備に努める必要があります。

子育て世代包括支援センター「みらい」では、親子と絵本の出会いの機会を提供するため、市立図書館と連携し、3・4か月児健康診査時に乳幼児向け絵本の紹介や読み聞かせ、図書館利用カードの作成等を行う「赤ちゃん絵本文庫」を実施するほか、1歳6か月児健康診査時におはなし会のチラシを配布するなど、読書の普及啓発活動を行っていますが、健康診査時に合わせて実施する事業であるため、健康診査後の親子が利用しやすいような運営が求められています。

施策の方向性

○ ボランティアと連携する等、地域社会全体での多様な読書活動の展開により、市内の各公共施設において、乳幼児が絵本に親しむ機会を増やしていきます。また、市立図書館では、読み聞かせに向く絵本のリストを作成し、市内の各公共施設に配布するほか、「赤ちゃん絵本文庫」のより効果的な実施方法を検討していきます。

主な取組

取組	内容	担当
乳幼児向けおはなし会の実施	市立図書館や子ども家庭支援センター「たち」等、様々な場所でボランティアと連携し、乳幼児を対象としたおはなし会を実施する。	地域コミュニティ課・図書館・子ども家庭支援課・保育支援課・子ども読書活動推進委員会
「赤ちゃん絵本文庫」の実施	3・4か月児健康診査の機会を活用し、乳幼児向け絵本の紹介や読み聞かせ、図書館利用カードの作成を行う「赤ちゃん絵本文庫」を実施する。	図書館・子ども家庭支援課
「親子DE読書タイム」の実施	乳幼児と保護者が周りに気兼ねなく館内に滞在できる「親子DE読書タイム」を実施する。	図書館

施策3 小学生の読書活動の推進

現状と課題

市立図書館、文化センター、学童クラブ及び放課後子ども教室では、小学生の読書活動を推進するため、おはなしボランティア等と連携し、小学生向けのおはなし会を実施しています。また、市立図書館で実施するブックトークや夏休みの読書キャンペーン、文化センターで実施する絵本作り教室など、子どもたちの読書活動につながるイベントを開催していますが、開催する場所やイベントの内容により、集客の格差が見られることが課題です。

市立図書館では、小学生向けの推薦図書リストの全館配布や、夏休みに薦める本のリストを市立小学校へ配布しています。

市立小学校では、「朝読書の時間」や読書週間等の取組を実施しています。また、保護者等による読み聞かせや図書委員会による読書集会などの取組により、子どもの読書習慣の形成を積極的に促すとともに、学校図書館を利用した学習活動を計画的に行い、子どもが本と出会う機会の充実を図っています。

施策の方向性

- 市立図書館や文化センター、学童クラブ、放課後子ども教室では、小学生の読書活動を推進するため、おはなしボランティア等と連携し、小学生向けのおはなし会を継続して実施するとともに、各種イベントのPR方法を工夫することで、より多くの子どもと保護者に周知し、子どもたちの参加機会が増えるよう努めます。
- 小学校は、児童が日常的に本に親しむことができる場所です。学校図書館を中核として、読書活動を推進し、子どもが生涯にわたって読書に親しみ、読書を楽しむ習慣を形成していきます。

子どもの読書活動の充実を図るため、これまで実施している「朝読書の時間」や読書週間等の取組を継続するとともに、保護者等による読み聞かせや図書委員会による読書集会などの取組により、子どもの読書習慣の形成を積極的に促します。

授業においては、学校図書館を利用した学習活動を年間指導計画に位置付け、計画的に行うようにします。

学校司書や図書委員会を中心に、新刊本や季節に合わせた本、先生のおすすめ本コーナーを作るなどして、子どもたちが本を読みたくなるような工夫を行い、学校図書館の利用促進を図ります。

主な取組

取組	内容	担当
小学生向けおはなし会の実施	市立図書館や文化センター、学童クラブ等、様々な場所でボランティアと連携し、小学生を対象としたおはなし会を実施する。	地域コミュニティ課・図書館・児童青少年課
小学生向けの各種イベントの実施	「ブックトーク」や「絵本作り教室」等、読書活動の推進に資する小学生向けのイベントを実施する。	地域コミュニティ課・図書館
小学生向けの推薦図書リストの作成及び配布	小学生向けの推薦図書リストを作成し、市立図書館ホームページへの掲載や、市立小学校の児童への配布を行う。	図書館
読書機会の継続と時間の確保	「朝読書の時間」や読書週間等の読書活動の取組を継続・推進する。	指導室
工夫を凝らした読書活動の展開	各市立小学校で工夫を凝らした読書活動を実施し、子どもの読書習慣の形成を積極的に推進する。	指導室
学校図書館の利用促進	学校司書や図書委員会によるおすすめ本の紹介や、季節に合わせた本の紹介コーナーを設置するなど、子どもたちが本を読みたくなるような工夫を行い、学校図書館の利用促進を図る。	指導室



▲ブックトークの様子（中央図書館おはなしの部屋）



▲市立図書館が発行する小学生向けの推薦図書リスト

施策4 Y A世代の読書活動の推進

現状と課題

市立図書館では、大人への成長過程にある時期だからこそ薦めたい図書のリストを作成し、市立中学校等の市内施設に配布するとともに、Y A世代が関心を持つテーマ展示やイベントを開催し、本に触れる機会をつくっています。図書館離れが進む世代に対して、どのようにアプローチしていくかが課題です。

市立中学校では、学校司書や図書委員会を中心に、朝読書等の取組の継続・推進や、新刊本や季節に合わせた本のコーナーを作るなど、学校図書館の利用促進を図り、子どもの読書習慣の形成を積極的に促しています。

施策の方向性

- 市立図書館では、魅力ある蔵書の充実を図り、中学生・高校生の利用の拡大に努めるとともに、図書館を利用した調べ学習にも適切に対応します。また、テーマ展示やイベントを行うことで、図書館離れが進むY A世代が楽しく利用できる機会を積極的につくるとともに、同世代とのコミュニケーションの場としても機能するよう、引き続き取り組んでいきます。
- 中学校では、生徒が日常的に本に親しむことができるように、学校図書館を中核として、本と出会う機会と読書生活を豊かにする活動の推進を図ります。現在実施している「朝読書の時間」や読書週間等の取組を継続するとともに、各学校で工夫を凝らした多様な読書活動を推進することで、子どもたちの学校図書館の利用促進を図ります。そして、子どもが生涯にわたって読書に親しみ、読書を楽しむ習慣を形成していきます。

主な取組

取組	内容	担当
Y A世代向けの各種イベントの実施	中央図書館Y Aコーナーにおいて、季節や行事等に合わせた中学生・高校生向けの本を展示するほか、夏休みに合わせたイベントを実施する。	図書館
Y A世代向けの推薦図書リストの作成及び配布	Y A世代向けの推薦図書リストを作成し、市立図書館ホームページへの掲載や市立中学校への配布を行う。	図書館
読書機会の継続と時間の確保	「朝読書の時間」や読書週間等の読書活動の取組を継続・推進する。	指導室
工夫を凝らした読書活動の展開	各市立中学校で工夫を凝らした読書活動を実施し、子どもの読書習慣の形成を積極的に推進する。	指導室
学校図書館の利用促進	本を紹介し合う、感想・意見を交換し合うなどの多様な読書活動を推進し、学校図書館の利用促進を図る。	指導室

施策5 障害のある子どもの読書活動の推進

現状と課題

市立図書館では、「子どもはみな本を必要としており、読書の喜びを体験する権利がある。」という考えの下、スウェーデンの公共図書館で始まった「りんごの棚」を中央図書館に設置し、心身の障害やディスレクシア（識字障害）等により読書が困難な子どもにも本を楽しんでもらえるよう、布の絵本やさわる絵本、LLブックなど、様々な種類の図書を収集しています。

市立図書館と障害者福祉課が連携し、「子どもの読書月間」に心身障害者福祉センター「きずな」で、布の絵本・さわる絵本・LLブックの展示とパンフレットの配布を行うなど、利用者の定着・拡大を図りましたが、引き続きハンディキャップ資料の周知を図る必要があります。

特別支援学校や小・中学校の特別支援学級に在籍する児童・生徒、小・中学校の通常の学級に在籍しながら通級による指導を受けている児童・生徒は増加しています。読書活動にあっても、こうした子どもたちの多様性を受容し、それに対応した取組を行うことが求められています。

保育所等の市内公共施設では、子どもたちが落ち着いた環境の中で絵本に触れられるよう読書スペースを用意したり、子どもの特性に合わせて読める絵本を提供するなど、それぞれの子どもの発達段階に応じた対応を進めながら、本に興味を持てるようにしています。

施策の方向性

○ 市立図書館では、通常読書が困難な子どもが読書活動を行う環境を整備するため、様々な分野の本を音声化した録音図書のほか、布の絵本やさわる絵本、LLブックなどのハンディキャップ資料の充実を図るとともに、点字図書館などの専門機関や関係部署との連携を図り、資料の提供に努めます。

また、郵送貸出しや宅配など、来館が困難な子どもへの資料の提供に努めるほか、拡大読書器、音声読上げ機等の読書支援機器の利用を促進します。

さらに、音訳ボランティアや布の絵本製作ボランティアとの連携により、対面朗読や資料の収集・充実を図ります。子どもの発達段階に応じて図書館資料を活用できるよう、学校や保育所、心身障害者福祉センター「きずな」などと連携を進めます。

○ 学校図書館では、障害のある子どもが読書活動を行う環境を整備するため、市立図書館の点字図書や布の絵本等の貸出しを利用することにより、市立図書館と連携を図っていきます。また、読み聞かせやストーリーテリング¹⁷等の取組に手話を添えたり、手遊びや歌を交えたり、様々な言語を併用したりするなど、多様な子どもたちの誰もが参加できる読書活動の促進を図ります。

今後も、それぞれの子どもの発達段階に応じた対応を進めながら、絵本に触れ、読み聞かせを楽しむことができる環境作りに努めます。

主な取組

取組	内容	担当
ハンディキャップ資料の充実	図書館ボランティアと連携し、録音図書や布の絵本等のハンディキャップ資料の充実を図る。	図書館
郵送貸出し・宅配サービスの実施	視覚障害のある子どもに郵送でデージー図書・点字図書の貸出しを行うほか、図書館ボランティアと連携し、心身の障害等で市立図書館に来館することができない子どもに対して、直接資料を届ける宅配サービスを実施する。	図書館
対面朗読の実施	中央図書館において、通常の活字による読書が困難な子どもを対象に、音訳ボランティアが図書の読み上げを行う対面朗読を実施する。	図書館
点字図書等の給付	障害者等日常生活用具費等給付事業において、申請者からの申請に応じ、点字図書の給付を行う。	障害者福祉課
子どもの特性に合わせた読書環境の整備	子どもの発達段階や特性を考慮し、絵本に興味や親しみを感じられるような環境を整備する。	保育支援課
障害のある子どもに対する読書支援	多様な子どもたち誰もが参加できる読書活動の促進を図る。	指導室



▲「りんごの棚」（中央図書館）



画像提供：Barnens bibliotek

▲「りんごの棚」のマーク

施策6 外国語を母語とする子どもの読書活動の推進

現状と課題

市立図書館では、在留外国人や外国人留学生が増加している状況を踏まえ、外国語を母語とする子どもに対するサービスとして、外国語の絵本や児童書を収集し、提供しています。

また、外国語資料を展示するなど、子どもに興味や関心を促すような工夫を行い、利用促進を図っています。

保育所などの施設では、外国語を母語とする子どもや帰国児童・生徒にとって、理解しやすい写真や挿絵が中心の図書を活用することで読書への興味を促しています。

学校図書館では、外国の言語や文化に関する図書、外国語の絵本等を集めたコーナーの設置や、日本の文化・伝統に関する図書を集めたコーナーを設置しています。

施策の方向性

- 市立図書館では、外国語を母語とする子どもたちが読書に親しむことができるよう、また、子どもたちが読書を通して多文化に触れる機会が得られるように、様々な外国語資料を収集します。また、外国語資料を展示するなど、子どもに興味や関心を促すような工夫を行い、利用促進を図ります。
- 学校図書館では、外国の言語や文化に関する図書を収集するとともに、外国語の絵本等を集めたコーナーや日本の文化・伝統に関する図書を集めたコーナーの設置等を引き続き推進し、子どもたちが様々な言語や文化に触れる機会を充実させることにより、国際理解・国際交流の基盤を培います。
- 保育所などの施設では、外国語を母語とした子どもが読書に興味を持つことができるよう読書環境の整備を図ります。

主な取組

取組	内容	担当
外国語資料の充実	様々な言語で書かれた絵本や児童書等、外国語資料の収集に努める。	図書館・指導室
外国語資料の利用促進	子どもたちが様々な言語や文化に触れられるよう、外国語資料を手に取りやすく、分かりやすく配架するなど、外国語資料の利用促進を図る。	図書館・指導室
外国語を母語とする子どもに配慮した読書環境の整備	外国語を母語とする子どもたちが安心して過ごし、絵本に親しみを持てるよう、世界の物語や国旗・食べ物の絵本を提供するなど、読書環境を整備する。	保育支援課

計画目標 3 読書活動推進体制の整備

施策 1 庁内連携及び関係機関との連携

現状と課題

庁内の関係部署が連携・協力し、子どもの読書活動を推進するため、推進委員会を定期的
に開催し、関係部署との情報共有や本計画に基づく各施策の進行管理を行っています。また、
学識経験者や学校教育関係者、公募市民などで構成される府中市図書館協議会との連携を図
り、子どもの読書活動に関する情報や課題を共有することで、課題解決を図っています。

また、市立図書館で不要となった児童書などの資料については、市内の関連施設での蔵書
の充実を図るため、リサイクル図書として各施設に提供しています。

施策の方向性

- 関係部署が連携・協力しながら子どもの読書活動の推進に向けて取り組むため、推進委
員会の開催や市内関連施設でのリサイクル図書の利活用を進めます。
- 府中市図書館協議会と連携することで、市民に開かれた施策につなげます。

主な取組

取組	内容	担当
子ども読書活動推 進委員会の開催	子ども読書活動推進委員会を定期的 に開催し、各施策の進捗状況の確 認、検証や、関係部署との情報共 有を図る。	図書館・子 ども読書活 動推進委員 会
リサイクル本の提 供による蔵書の充 実（再掲）	市内の公共施設等に市立図書館の リサイクル本を提供する。	図書館
図書館推薦図書リ ストの情報提供・ 活用（再掲）	市内の公共施設等で絵本や児童書 等を購入する際の参考となるよう 、市立図書館が作成したリストを 各施設に情報提供する。	図書館
府中市図書館協議 会との連携	学識経験者、学校教育関係や公募 市民等で構成される府中市図書 館協議会へ子どもの読書活動の推 進に関する報告や、意見聴取を行 う等情報や課題を共有し、推進委 員会との連携を図る。	図書館

施策2 地域との連携

現状と課題

子どもの読書活動の推進には、行政施策だけでは限界があり、地域全体の取組として、学校、子育てを支援する市民、民間団体、読書活動推進団体等との連携が欠かせません。

市立図書館では、おはなしボランティアを募集し、市立図書館のほか市内の施設において、おはなし会を実施しています。

文化センターや学校、保育所等では、市内で活動している読み聞かせボランティアやサークル等と連携し、おはなし会や講座等を開催しています。

施策の方向性

- 市立図書館では、おはなしボランティアを募集し、ストーリーテリングや、絵本の読み聞かせ等、ボランティアとしてのスキルアップのための講座を開催するほか、市立図書館全館でボランティアとの協働によるおはなし会を実施することにより、地域社会全体の取組として子どもの読書活動を推進します。
- 文化センターや学校、保育所等では、読み聞かせボランティアやサークル等によるおはなし会や講座等を実施することで、地域の子どもの読書活動の推進を図ります。

主な取組

取組	内容	担当
おはなしボランティアとの連携	市民ボランティアを募集し、ストーリーテリングや、絵本の読み聞かせ等、ボランティアとしてのスキルアップのための講座を開催するほか、市立図書館全館でボランティアとの協働による読み聞かせやおはなし会を実施する。	図書館
読み聞かせサークル等との連携	地域で活動する読み聞かせボランティアやサークル等の団体と連携したおはなし会や読み聞かせを開催し、団体の活動機会の拡充を図る。	地域コミュニティ課・文化生涯学習課・保育支援課・指導室

施策3 市立図書館と学校との連携

現状と課題

市立図書館では、市内の公立小・中学校において子どもたちの調べ学習等に活用できるよう、学校のニーズに合わせた図書セットを作成し、各学校へ配送を行う学級貸出を行っています。

また、小学校が実施している町たんけんや図書館見学のほか、中学生・高校生を対象とした職場訪問や職場体験などを積極的に受け入れることで、子どもたちが図書館業務について理解を深めることにつながっています。新型コロナウイルス感染症拡大以降、多くの学校で中止又は縮小されましたが、市立図書館では、より多くの子どもたちに図書館や本に親しみを持ってもらえるよう、感染対策を講じながら受入れを実施しました。図書館見学や職場訪問等が子どもたちの新たな学びにつながるよう、今後も受入れを継続していく必要があります。

また、学校図書館担当者連絡協議会などに市立図書館の職員が参加し、情報共有や意見交換を行っていますが、市立図書館と学校との連携強化に向け、今後も継続的な取組が必要です。

施策の方向性

- 学級貸出の活用を促進することで、読書活動及び調べ学習の充実を図ります。
また、より多くの子どもたちが図書館や読書に興味・関心を持ち、市立図書館への来館や読書活動の促進につながるよう、図書館見学や職場訪問等について、積極的な受入れを継続します。
- 市立図書館と学校との連携強化に向け、引き続き、学校図書館担当者連絡協議会などに市立図書館の職員が参加し、情報共有や意見交換等を行います。

主な取組

取組	内容	担当
学級貸出の実施	市内の公立小・中学校で利用頻度の高い調べ学習や、野外学習等に関する資料のセットを作成し、学校図書館に配送する。	図書館
図書館見学、職場訪問及び職場体験の受入れ	児童・生徒を対象とした図書館見学や職場訪問・職場体験を積極的に受け入れることにより、児童・生徒の図書館運営への理解や利用促進を図る。	図書館
学校図書館担当者連絡協議会を活用した連携強化	学校図書館担当者連絡協議会に市立図書館の職員が参加し、情報共有や意見交換等を行うことにより、学校図書館担当者・学校司書と市立図書館職員との連携を強化する。	図書館・指導室

計画目標 4 人材の育成・活用

施策1 子どもの読書に関わる人材育成

現状と課題

子どもの読書活動の推進を図るためには、子どもの本や読書活動、調べ学習などに関する知識と技術を有する職員の配置や養成が不可欠です。専門的知識を有する職員は資料の選択、収集及び提供をするほか、子どもからのレファレンスや保護者からの読書相談を受けるなど、子どもの読書活動を推進する上で、重要な役割を果たします。専門的な研修に参加し、専門的知識や技術を取得するとともに、職場内での共有により、専門的知識を有する職員の養成及びスキルアップを図る必要があります。

また、市内の各施設では、子どもと本の出会いの場の提供として、読み聞かせやおはなし会を行っています。これらの活動にはおはなしボランティアや子どもの読書に関わる大人の存在が欠かせません。このため、市立図書館では、おはなしボランティア対象の「ステップアップ講座」や市民対象の「読み聞かせ講習会」を毎年実施し、絵本の読み聞かせやストーリーテリングなどを行う人材を育成しています。

また、「ふちゅうカレッジ出前講座」に依頼のあった地域のおはなしボランティア団体や市民に対し、市立図書館職員が読み聞かせや絵本に関する基本的な講座を実施しています。

学校図書館では、急速に変化するデジタル社会に対応し、ICTを効果的に活用するとともに、アクセシブルな図書等を整備する必要があり、教員や学校司書等に求められるスキル、知識、能力は急速に変化し、複雑化しています。

今後も、ボランティアを始め子どもの読書に関わる人材の育成、技術研さんのための継続的な講座などの実施が必要です。

施策の方向性

- 市立図書館では、職員が専門的知識や技術を修得することができるよう、外部の専門的な研修への参加や職場内で研修を行う体制を整え、専門的知識を有する職員の養成及びスキルアップを図ります。
- 市立図書館でのおはなし会を始め、保育所や小学校などの市内各施設、子育てサークルなどで読み聞かせを行う人材育成のため、引き続き講座や講習会などの実施に努めます。
- 「ふちゅうカレッジ出前講座」が更に市民に活用されるよう、魅力ある学習テーマの設定や広報の強化などを行っていきます。
- 教員や学校司書に求められる多様化・複雑化したニーズに対応できるよう、より多くの教員や学校司書に、継続的・計画的な研修を実施するよう努めます。

主な取組

取組	内容	担当
市立図書館職員のスキルアップ	外部の専門的な研修に積極的に参加し、新たな知識や技術を習得するとともに、研修内容を職場内で共有することで、専門的知識を有する職員の養成やスキルアップを図る。	図書館
読み聞かせを行う人材の育成	読み聞かせに関わる市民向けの講座・講習会などを実施するほか、読み聞かせに役立つ資料の作成を行い、読み聞かせを行う人材育成に努める。	図書館
「ふちゅうカレッジ出前講座」の実施	市職員が講師として出向いて実施する出前講座のメニューの中に、市立図書館職員による絵本の読み聞かせなどに関する講座を設定し、読み聞かせの仕方や絵本の選び方を講義する。	文化生涯学習課・図書館
学校図書館担当者連絡協議会等での研修の実施	教員や学校司書に求められる多様化・複雑化したニーズに対応できるよう、学校図書館担当者連絡協議会等で研修を実施する。	指導室



▲市立図書館が発行する「読み聞かせハンドブック」



▲「読み聞かせ講習会」の様子

施策2 ボランティアへの活動支援

現状と課題

市立図書館では、地域での読み聞かせやおはなし会で活動している市民や優れた知識・技能を持つ市民が、身近な場所でボランティアとして積極的に活動できるよう支援しています。おはなし会の実践やボランティアの研修・勉強会などの場として、中央図書館に設置する「おはなしのへや」や「ボランティア活動室」を貸し出しているほか、読み聞かせに向く図書の貸出しやリストの作成など、多角的な支援を行っています。

文化生涯学習課では、市内で読み聞かせやおはなし会などを行う社会教育関係団体に対し、活動場所の貸出しやイベント等の広報に協力するとともに、読み聞かせなどの活動に興味のある市民に対して、「生涯学習相談」を通じて関連する社会教育関係団体を紹介するなど、団体や市民が積極的に子どもの読書活動推進に取り組めるよう支援しています。

ボランティア活動がさらに活性化するように、引き続き、活動場所や図書情報を提供するなど、ボランティアが活動しやすい環境整備に努める必要があります。

施策の方向性

- 市立図書館では、ボランティアによる読み聞かせなどの読書推進活動を支援していくため、活動場所の提供及び活動に使用する資料の貸出しを引き続き行います。また、能力向上につながる講座や勉強会などの場を設け、ボランティアのスキルアップを図ります。
- 文化生涯学習課では、引き続き、読み聞かせやおはなし会などを行う社会教育関係団体の活動を支援するとともに、読み聞かせやおはなし会に興味を持つ市民の活動を支援します。

主な取組

取組	内容	担当
読み聞かせボランティア等への支援	読み聞かせボランティア等へ活動機会や研修・勉強会の場所の提供、読み聞かせに使用する資料の貸出しやリストの作成など、各種活動支援を行う。	図書館
社会教育関係団体への支援	読み聞かせやおはなし会を行う社会教育関係団体の活動を支援するため、活動場所の貸出しや広報の協力を行う。また、読み聞かせやおはなし会などの活動に興味のある市民に対して、「生涯学習相談」を通じて関連する社会教育団体を紹介する。	文化生涯学習課

計画目標 5 子どもの読書活動の啓発・広報

施策 1 子どもの読書活動の推進に向けた啓発活動

現状と課題

市立図書館では、4月23日の「子ども読書の日」が読書や本への関心を深めるきっかけとなるよう、定例のおはなし会より実施時間を長く設定したおはなし会や、特定のテーマに関する図書を借りるたびにシールがもらえる読書キャンペーン等、子どもたちが楽しみながら本と出会うことができる様々なイベントを実施しています。

また、10月の「子どもの読書月間」では、一つのテーマに沿って様々な本を紹介するブックトークを開催しています。子どもたちが本を手取るきっかけとなり、読書の視野を広げる良い機会となっています。

また、推進委員会では、おはなしボランティアとの協働で、市内の各公共施設を回る「おはなしキャラバン」を実施し、1・2歳児とその保護者を対象に、絵本の読み聞かせと手遊び・わらべうたを行っています。また、おはなし会終了後、参加者から絵本や読み聞かせについての質問の時間を設けるなど、ボランティアと保護者の交流や情報の共有の場となっています。

引き続き、子どもの読書意欲を促進するイベントや展示の実施等、効果的な広報活動が必要です。

施策の方向性

- 「子ども読書の日」や「子どもの読書月間」が読書や本への関心を深める契機となるよう、子どもの読書活動意欲の向上、市立図書館利用促進のためのイベント実施とPRに努めます。

主な取組

取組	内容	担当
「子ども読書の日」関連事業の実施	「子ども読書の日」に関する広報活動や、「おはなしキャラバン」、読書キャンペーン等関連イベントを実施し、読書意欲の向上及び市立図書館利用促進に努める。	図書館・子ども読書活動推進委員会
「子どもの読書月間」関連事業の実施	「子どもの読書月間」に関する広報活動や、「おはなしキャラバン」、ブックトーク等関連イベントを実施し、読書意欲の向上及び市立図書館利用促進に努める。	図書館・子ども読書活動推進委員会

施策2 関係機関との連携による情報発信

現状と課題

おはなし会等の子どもの読書に関わる事業の周知について、広報紙や市立図書館ホームページ、メール配信を活用するほか、子育て情報配信アプリや子育て情報誌「子育てのたまたま箱」、教育委員会広報紙「ふちゅうの教育」、図書館だより等を活用し、情報提供に努めています。

また、市立図書館と市内の小・中学校とが連携し、児童・YA世代向けのイベントに関するポスターの掲示やチラシの配布、図書リスト、図書館の施設案内などの配布を行っています。

共働き家庭の増加や子育て世帯の孤立が進む中でも情報が行き届くよう、今後も各関係機関との連携を深め、より効果的な広報を行う必要があります。

施策の方向性

- 子どもの読書活動の充実・発展につながる情報について、各関係機関や学校などが連携し、子どもや子育て世代の保護者、教育関係者などに向け、様々な媒体を活用した情報提供を行います。

主な取組

取組	内容	担当
子どもの読書活動推進に関わる事業の広報	ポスターやチラシ、ホームページ、メール配信サービス、SNSなど様々な媒体を活用して効果的に行うとともに、関係部署が連携して、各課が発信する広報媒体を共用することで横断的に情報発信を行う。	関係各課

第5章 計画の推進に向けて

1 推進体制

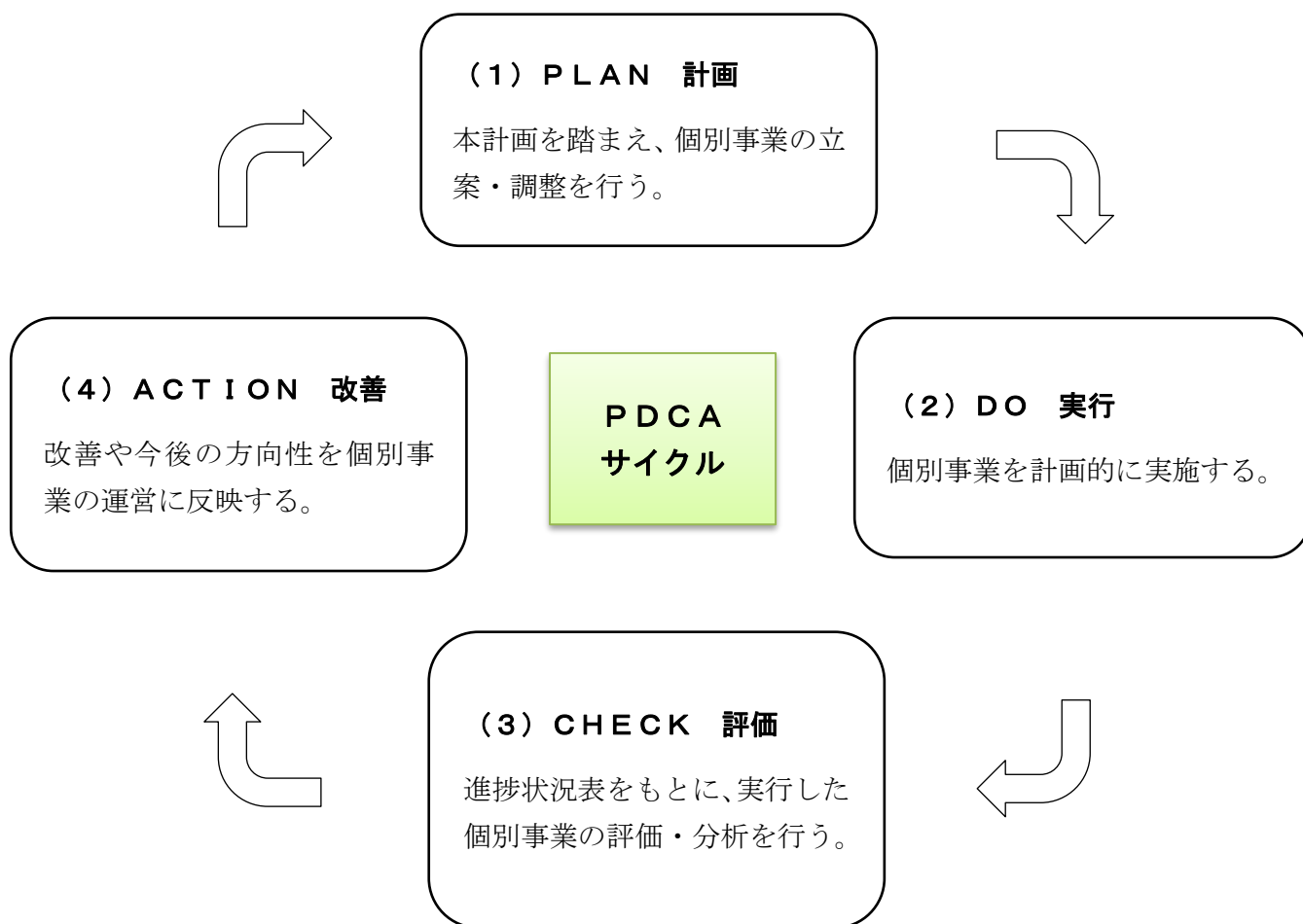
本計画の推進に当たっては、行政・学校・家庭・地域が協力・連携し、総合的かつ計画的に取り組んでいく必要があります。

本市では、関係部署の職員で構成する府中市子ども読書活動推進委員会を設置しており、この推進委員会が中心となって、本市の子ども読書活動を推進していきます。

2 進行管理

本計画に掲げた各取組については、「Plan（計画）」、「Do（実行）」、「Check（評価）」、「Action（改善）」の循環により業務改善を図るPDCAサイクルを活用し、毎年度、推進委員会で実施状況を調査・確認し、進行管理を行っていきます。

また、前期の計画期間終了年度の令和8年度には、本計画の進捗状況を確認し、前期3年間の取組の評価を行うため、児童や生徒、保護者を対象としたアンケートを実施し、その結果については、府中市教育委員会や府中市図書館協議会等に報告します。



参考資料 1

「第5期府中市子ども読書活動推進計画」に関するアンケート調査の結果

1 調査の概要

(1) 調査の目的

「第5期府中市子ども読書活動推進計画」の策定に当たり、これまでの子ども読書活動推進計画に基づく事業成果や、子どもの読書環境・読書意識等の現状を把握し、子どもの読書活動を更に推進するための基礎資料として活用するために実施しました。

(2) 調査対象

ア 児童・生徒

- (㊦) 市立小学校3校（対象 5年生全児童）
- (㊧) 市立小学校1校（対象 全学年全児童）
- (㊨) 市立中学校3校（対象 2年生全生徒）
- (㊩) 市内の都立高校1校（対象 2年生全生徒）

イ 保護者

- (㊰) 子育て世代包括支援センター「みらい」で実施する1歳6か月児健診
（対象 調査期間中の5回の健診対象の幼児の保護者）
- (㊱) 市立保育所3園（対象 全園児の保護者）
- (㊲) 私立幼稚園3園（対象 全園児の保護者）
- (㊳) 市立小学校3校（対象 全学年保護者）
- (㊴) 市立中学校3校（対象 2年生の全保護者）

(3) 調査票

ア 小学生（1～3年生）用

イ 小学生（4～6年生）・中学生・高校生共通用

ウ 保護者用

※ 回答しやすいように選択設問形式を主とし、現状に沿った内容を加味しながら、第4期計画策定時に実施したアンケートとの対比も想定した構成としました。

(4) 調査方法

ア 児童・生徒用調査

各学校に自治体専用のデジタル化総合プラットフォームL o G oフォームのURLを送付し、児童・生徒は各学校で配布しているタブレット、高校生は生徒個人のスマートフォン等を使用した回答方法としました。

イ 保護者用調査

子育て世代包括支援センター「みらい」、幼稚園、保育所、小学校及び中学校において、L o G oフォームのURLや二次元コードを掲載した用紙を各施設から配布し、パソコンやスマートフォンを使用した回答方法としました。

(5) 調査期間

令和5年5月から7月まで

(6) 配付枚数及び回収率

ア 児童・生徒

調査対象	配付枚数	回収枚数	回収率
市立小学校3校（5年生全児童）	265	147	55%
市立小学校1校（全学年全児童）	354	310	88%
市立中学校3校（2年生全生徒）	681	335	49%
市内の都立高校1校（2年生全生徒）	275	245	89%

イ 保護者

調査対象	配付枚数	回収枚数	回収率
子育て世代包括支援センター「みらい」 で実施する1歳6か月児健診（調査期間 中の5回の健診対象の幼児の保護者）	—	52	—
市立保育所3園（全園児の保護者）	247	115	47%
私立幼稚園3園（全園児の保護者）	443	265	60%
市立小学校3校（全児童の保護者）	1,195	374	31%
市立中学校3校（2年生の保護者）	681	93	14%

2 調査結果

調査結果については、アンケートの内容から次の6つのグループに分割し、集約しました。平成29年の第4期計画策定時のアンケート結果と比較できるものは、対比できるように表記するとともに、アンケート結果のグラフなどに加え、コメントを付記しています。また、59ページから65ページまでには、回答数を掲載した集計表を掲載しました。

- (1) 本への興味
- (2) 子どもたちの読書の実態
- (3) 保護者の考える子どもと読書の関係
- (4) 施設の利用状況
- (5) 認知度調査
- (6) 全学年児童調査

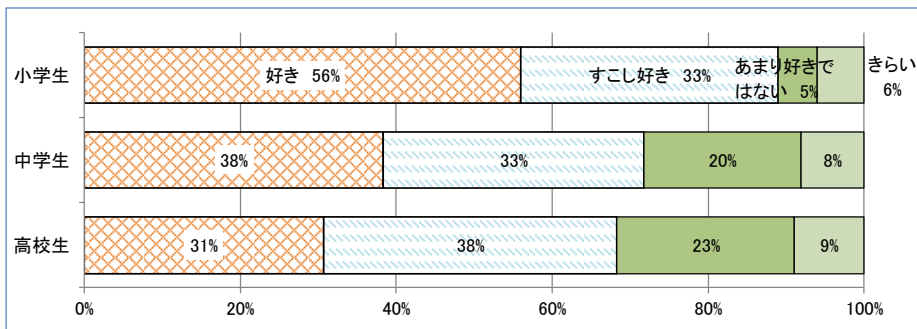
子どもの読書活動についてのアンケート結果

《本への興味》

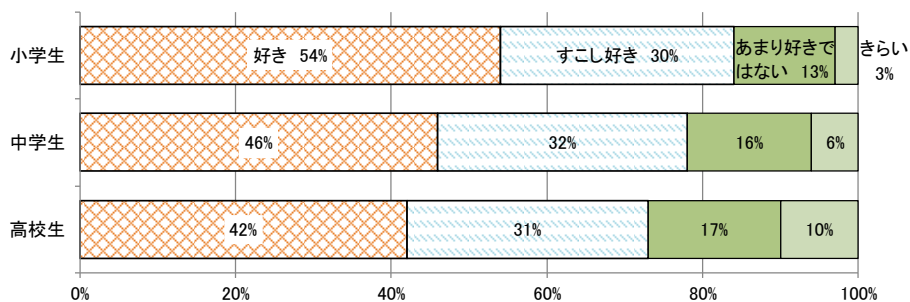
この計画を進める上で、まず把握すべきことは、「子どもたちと本との結びつき」といえます。読書と子どもたちとの関わりについて調査しました。

① 本を読むことが好きですか？ …児童・生徒対象

【令和5年調査】



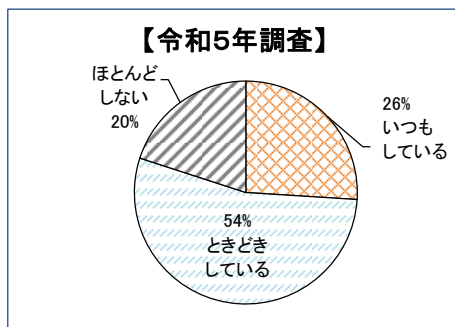
【平成29年調査】



「好き・すこし好き」と、「あまり好きではない・きらい」の割合を見ると、小学生は平成29年調査より「好き・すこし好き」の割合が増加しています。中学生及び高校生では「あまり好きではない・きらい」の割合が増加しています。

② 本を読みきかせたり、本について語り合うなどお子様と一緒に本を楽しんでいますか？

…保護者対象



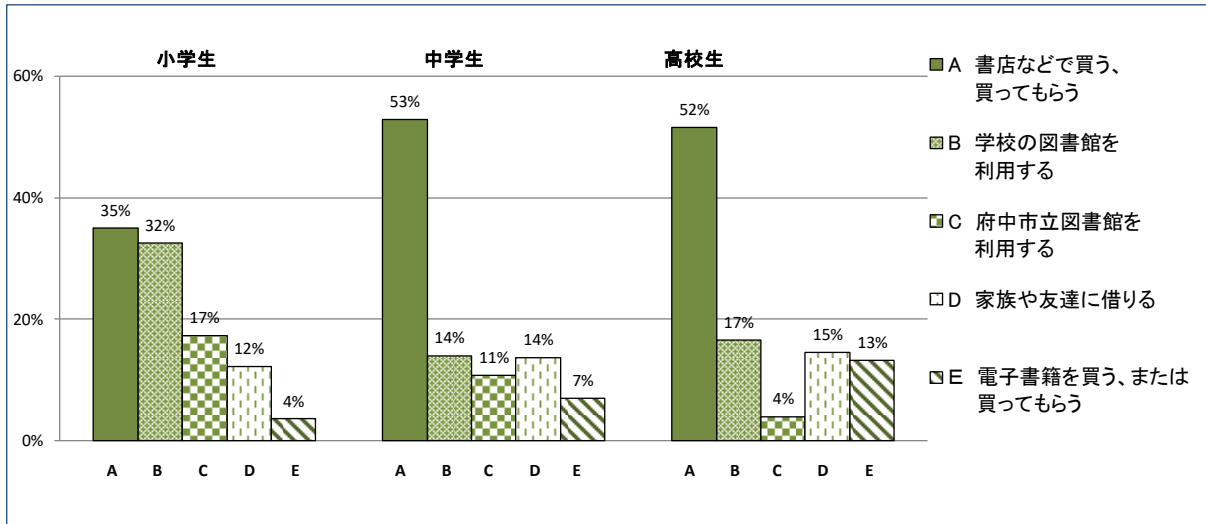
「いつもしている、ときどきしている」と答えた割合は80パーセントでした。多くの保護者が子どもと一緒に、本を楽しんでいることが分かります。

《子どもたちの読書の実態》

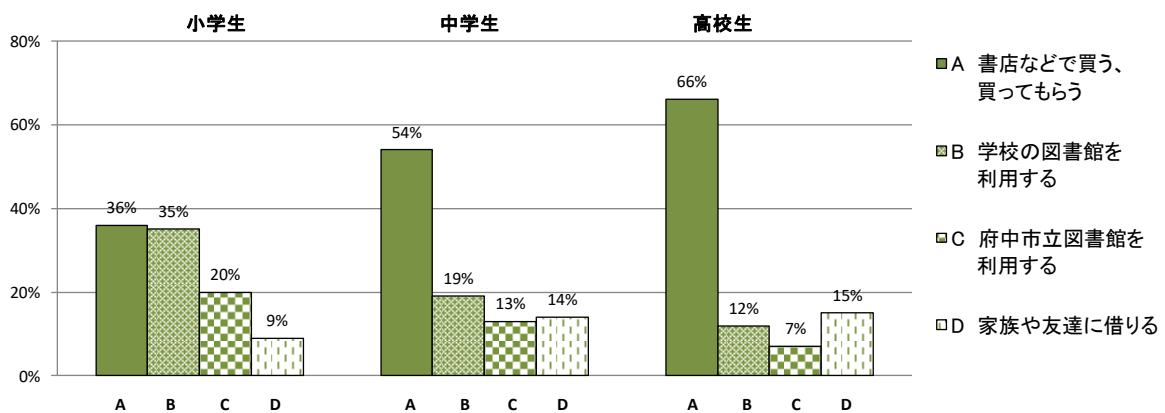
子どもたちの読書に対する考え方や、日常の実態についての調査をしました。

③ 読みたい本はどのように手にいれますか？ …児童・生徒対象

【令和5年調査】

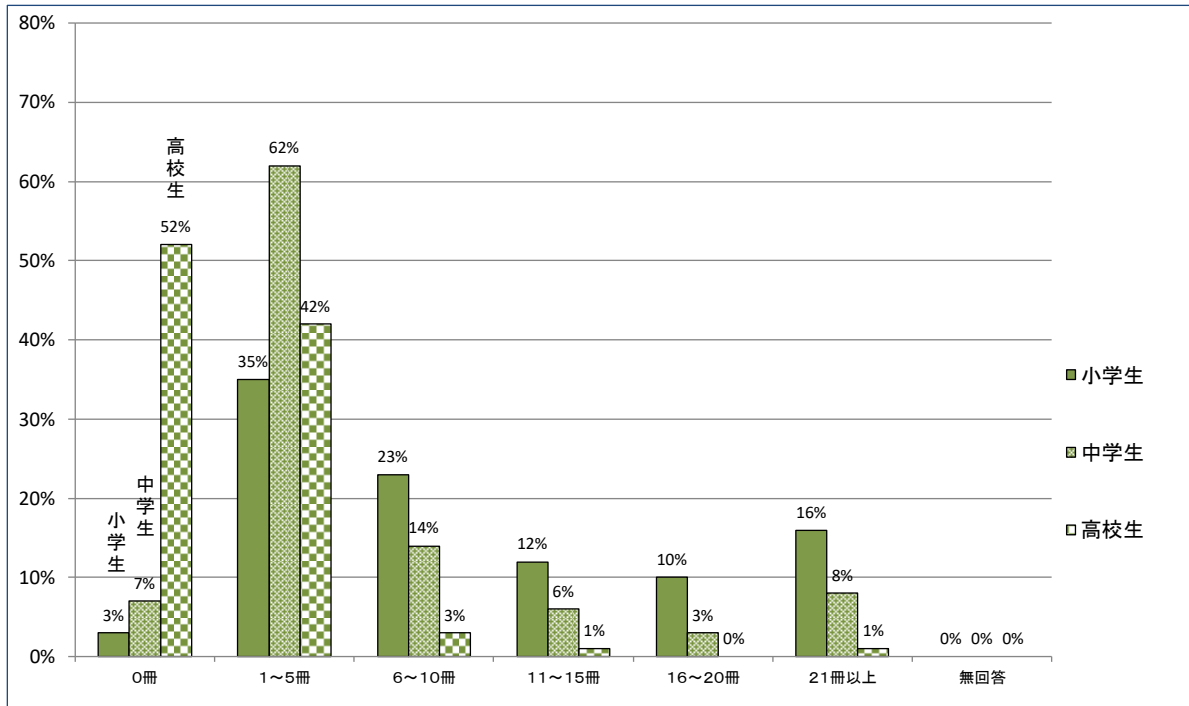


【平成29年調査】

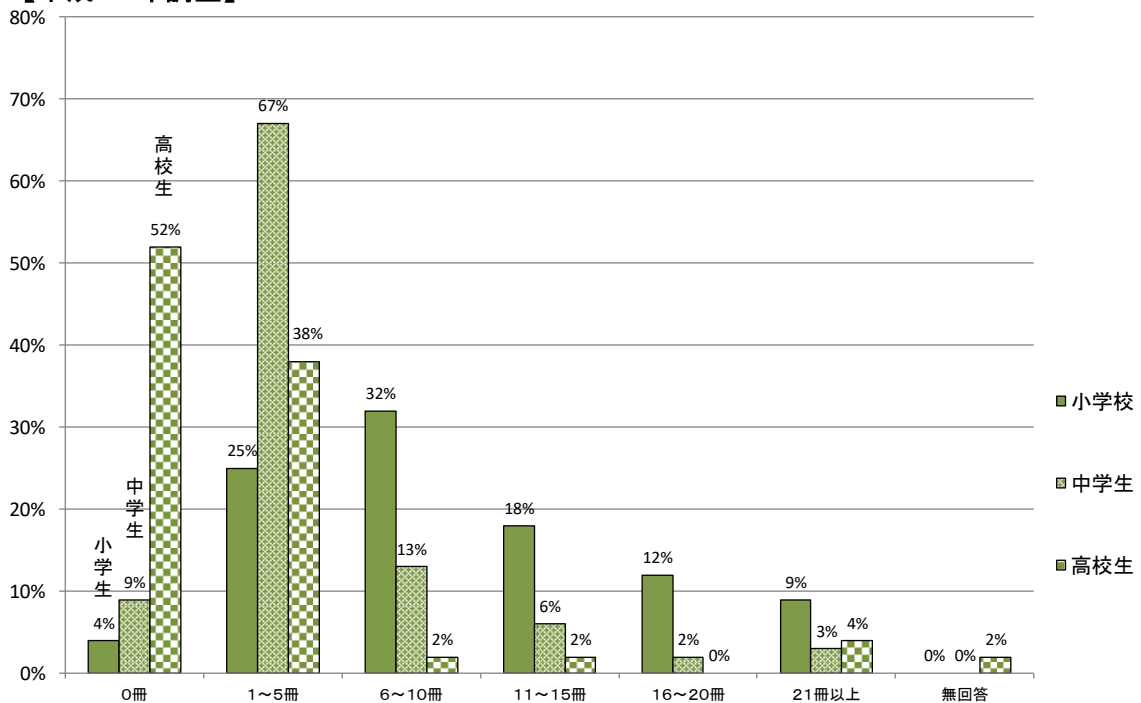


小学生、中学生、高校生の全てで「書店などで買う、買ってもらう」の回答の割合が一番高い結果となりました。学校図書館や市立図書館で借りると回答した割合は、平成29年調査と令和5年調査のどちらも、小学生に比べて、中学生と高校生は下がる傾向にあります。一方で、令和5年調査で新しく「電子書籍を買う」という回答を増やしたところ、「電子書籍を買う」とした割合は小学生4パーセント、中学生7パーセント、高校生13パーセントとなり、学年が上がるほど割合が増えています。

④ ここ1ヶ月で本を何冊読みましたか？…児童・生徒対象
【令和5年調査】



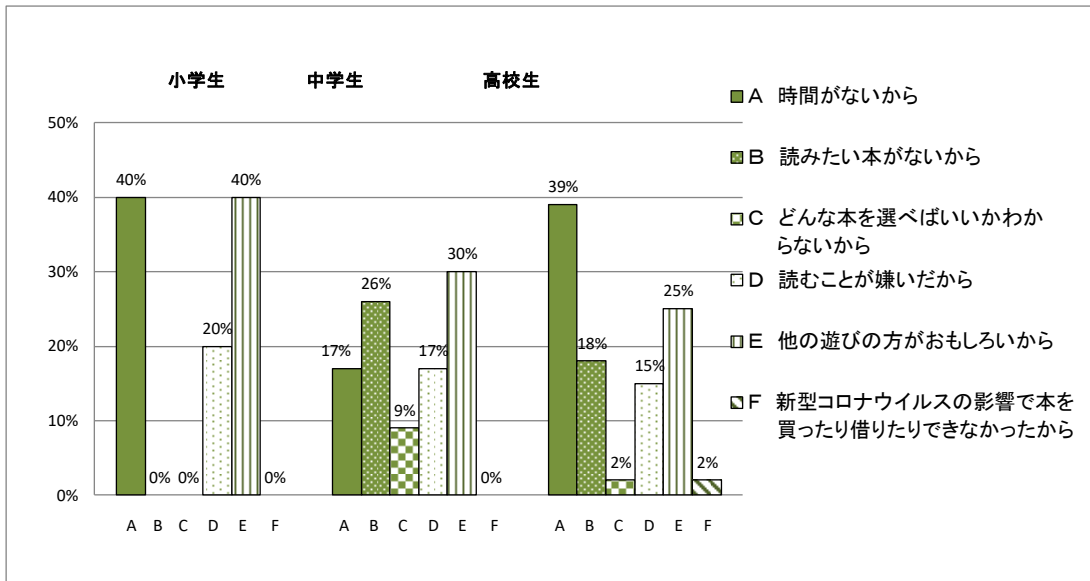
【平成29年調査】



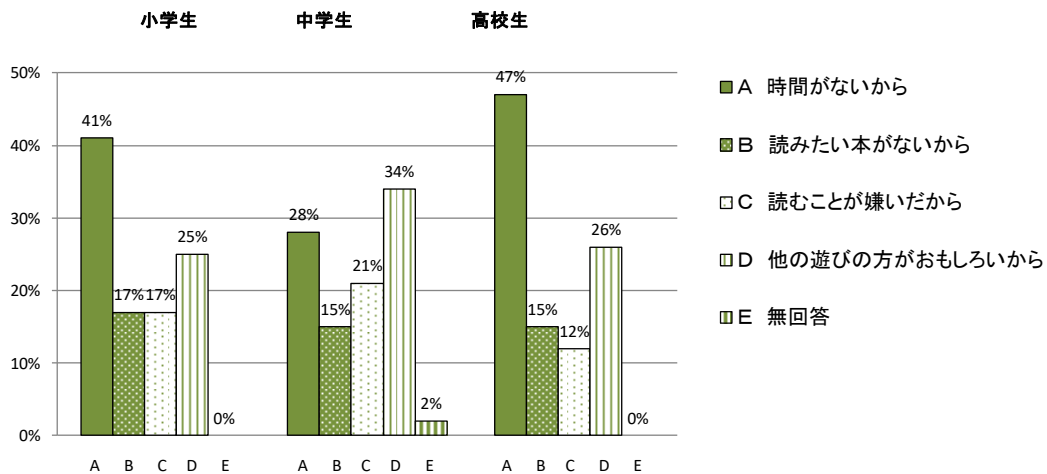
令和5年調査の「0冊」という回答の割合（不読率）は、小学生が3パーセント、中学生は7パーセント、高校生は52パーセントとなり、平成29年調査と比べて、小学生が1ポイント、中学生は2ポイント減りました。高校生の回答の割合に変化はありませんでした。

⑤ ④で「0冊」と答えた人に質問します。本を読まなかったのはなぜですか？…児童・生徒対象

【令和5年調査】



【平成29年調査】



令和5年調査では、平成29年調査に引き続き「時間がないから」、「他の遊びの方がおもしろいから」が多数を占めています。中学生については、「読みたい本がないから」が26パーセントを占め、平成29年調査より11ポイント増えました。

読書の面白さを知ったり、興味の持てる本との出会いを創出することが求められています。

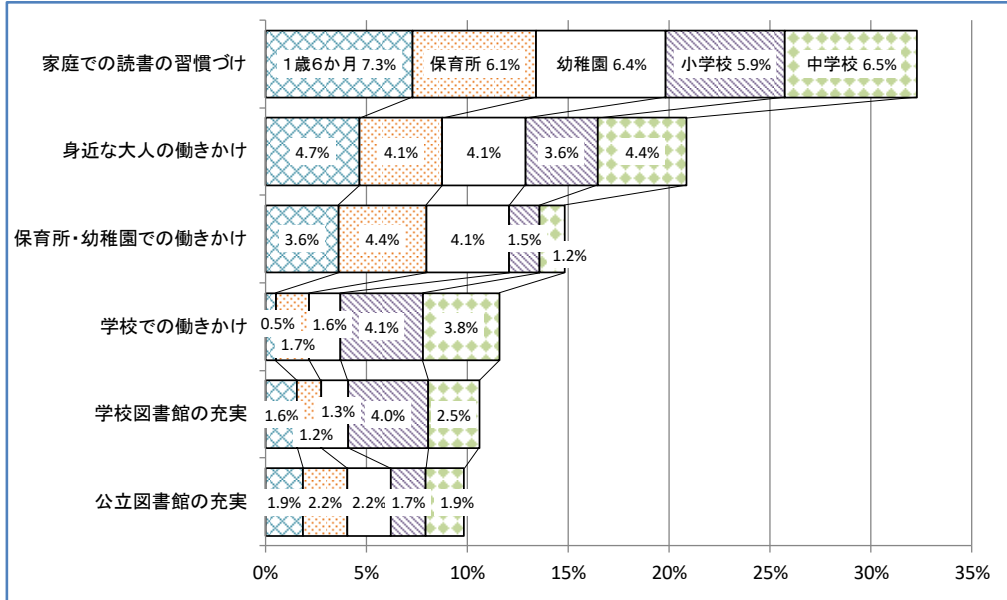
《保護者の考える子どもと読書の関係》

保護者は、子どもの成長の過程で、何を必要と考えているのかを調査しました。

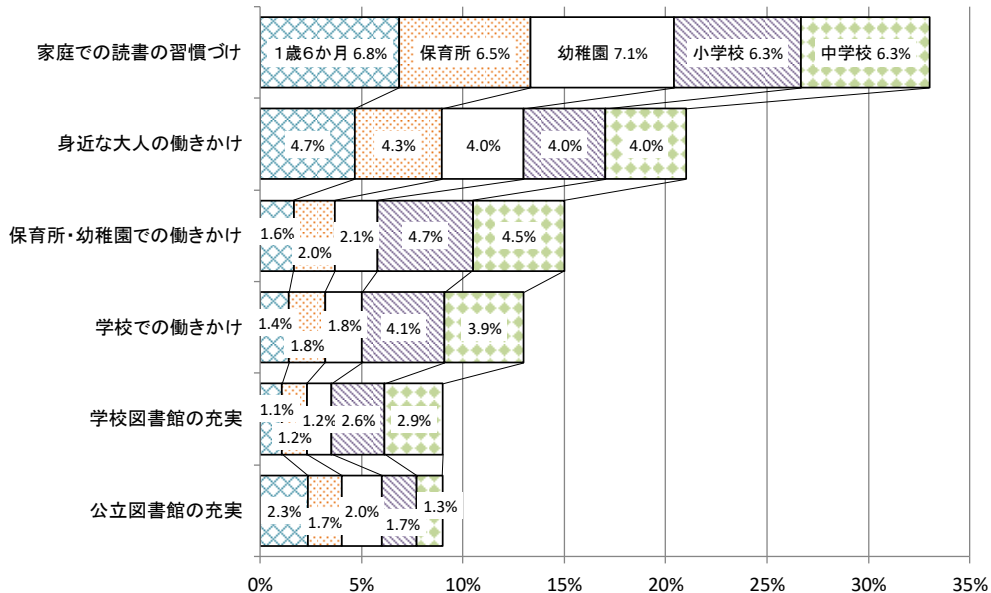
⑥ 本を読む子に育てるためには特に何が重要だと思いますか？(3つ選択で回答)

…保護者対象

【令和5年調査】



【平成29年調査】



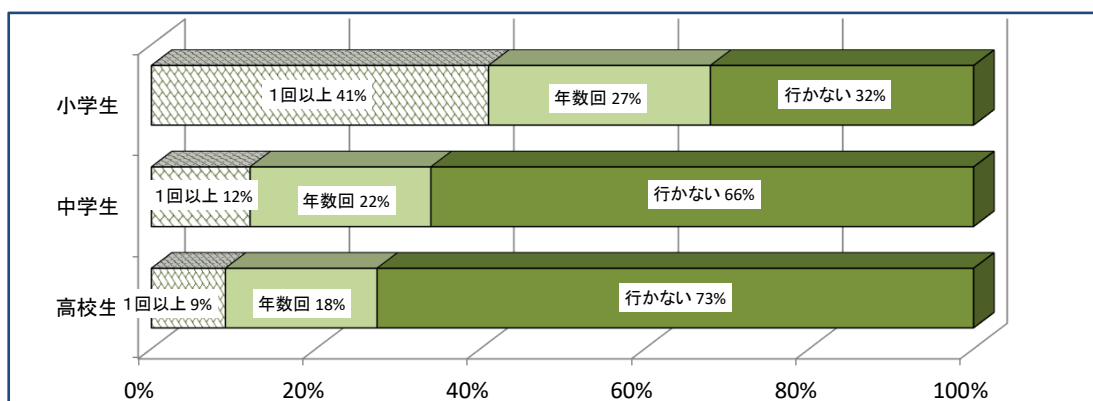
平成29年調査に引き続き、「家庭での読書の習慣づけ」が重要であるという回答の割合が一番多い結果となりました。続いて、「身近な大人の働きかけ」、「保育所・幼稚園での働きかけ」、「学校での働きかけ」が回答の上位を占めており、まずは子どもの身近にいる周囲の大人からの働き掛けがより重要であると考えていることがうかがえます。

《施設の利用状況》

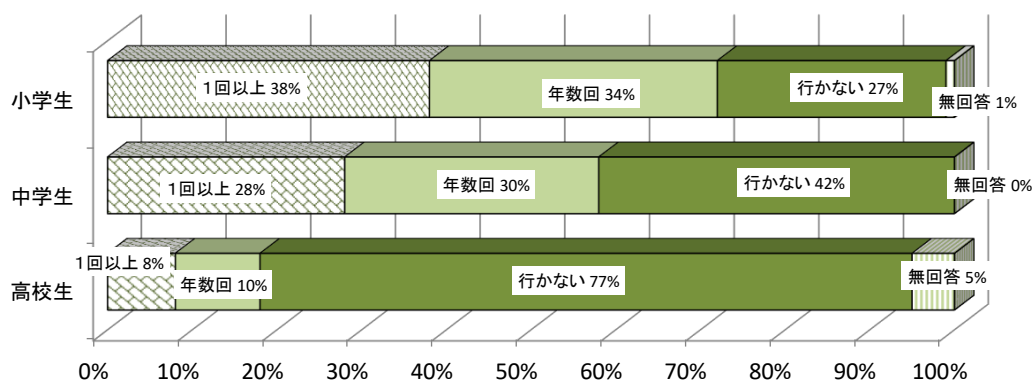
学校図書館、市立図書館など、子どもの読書活動を支援する施設の利用率の向上を図るため、子どもたちの施設の利用状況の現状を把握するための調査を行いました。

⑦ 授業以外で、1週間にどのくらい学校の図書室に行きますか？…児童・生徒対象

【令和5年調査】



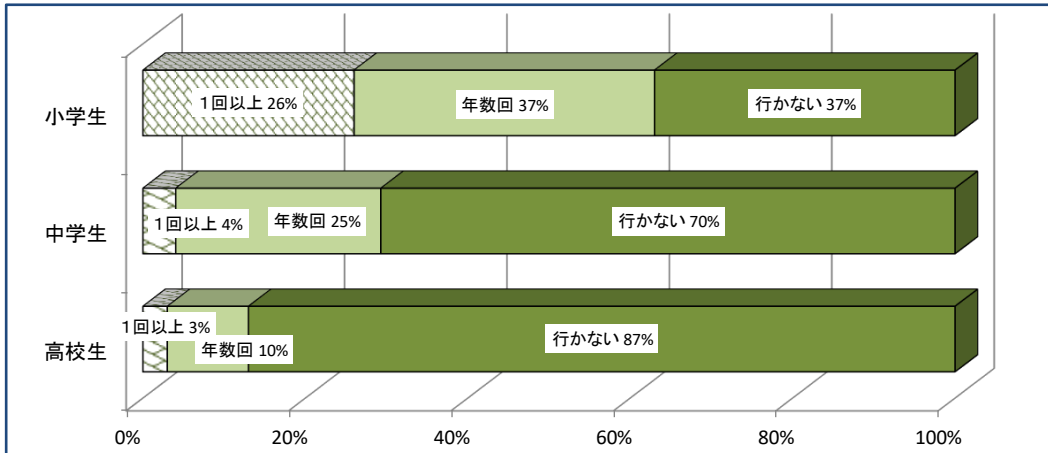
【平成29年調査】



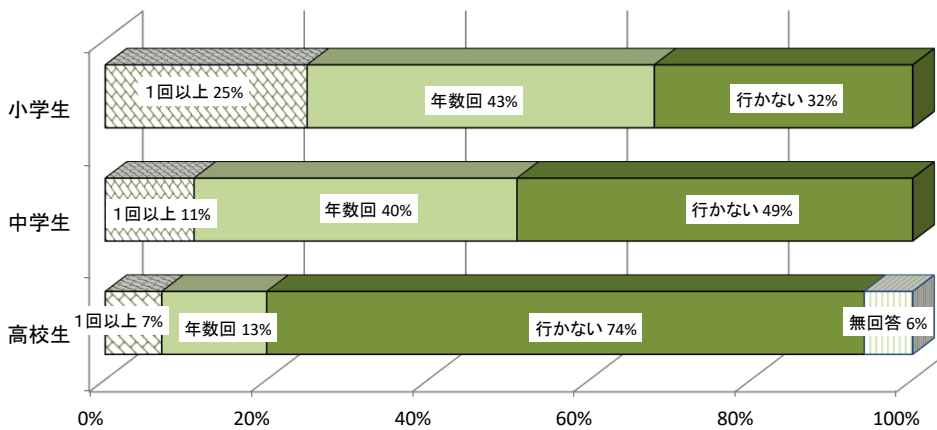
令和5年調査で「行かない」と回答した割合は、小学生で32パーセント、中学生で66パーセント、高校生で73パーセントとなり、学年が上がるごとに「行かない」の回答の割合が上がっています。また、平成29年調査と比べて、「行かない」という回答の割合が、小学生と中学生で増加し、高校生で減少しました。

⑧ 1週間にどのくらい府中市立図書館に行きますか？…児童・生徒対象

【令和5年調査】



【平成29年調査】



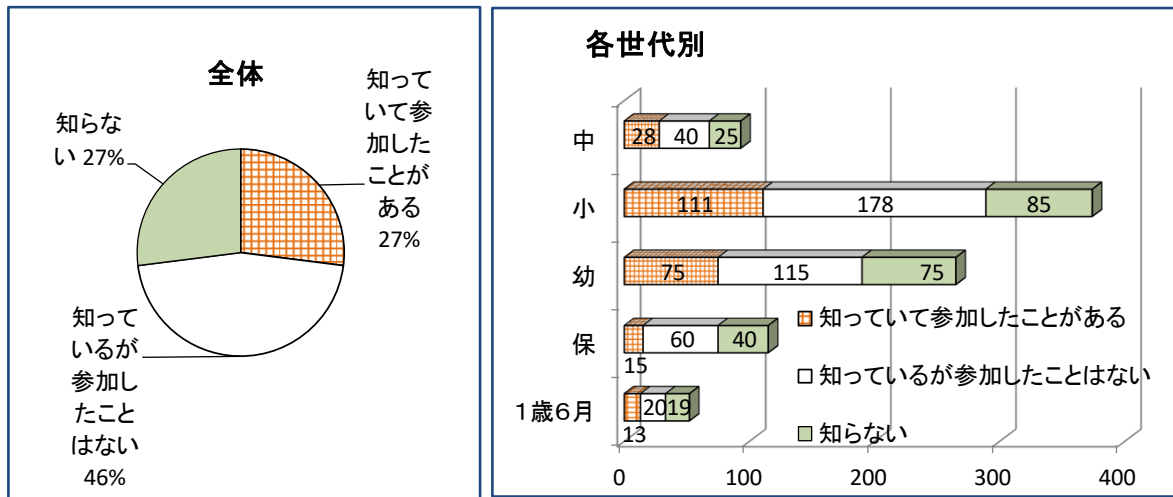
「行かない」という回答が、小学生は37パーセント、中学生は70パーセント、高校生は87パーセントとなり、学年が上がるとともに割合も上がっています。また、平成29年調査と比較して小学生、中学生、高校生全てにおいて増加しています。「行かない」という回答が増加した理由としては、新型コロナウイルス感染防止対策による臨時休館やイベントの中止・縮小、中央図書館の施設修繕等に伴う長期休館等の影響があると考えられます。中・高校生については、7割以上が「行かない」と回答しているため、特に中学生・高校生等のYA（ヤングアダルト）世代への更なるアプローチが求められます。

《認知度調査》

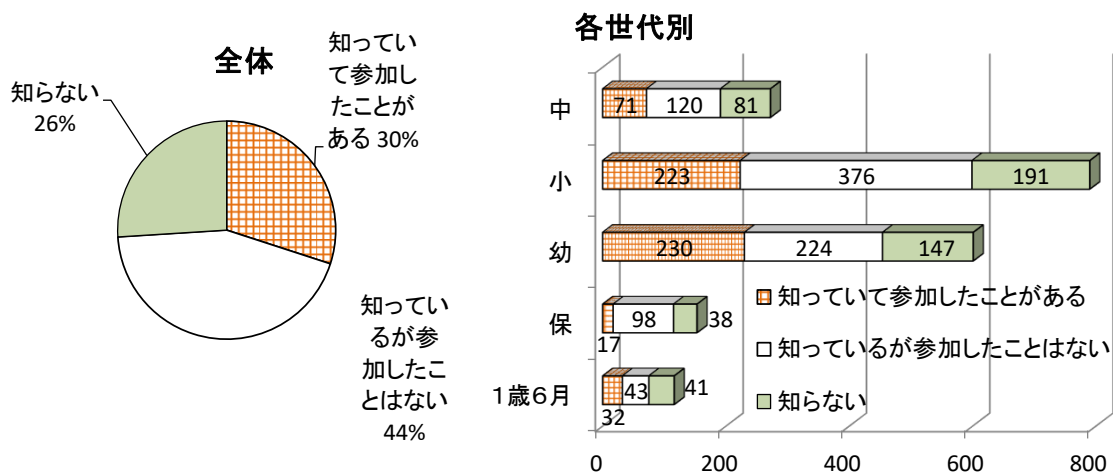
子どもの読書活動を推進するために実施している子ども向けの事業について、各事業の認知度を調査しました。

⑨ 市立図書館で開催する「おはなし会」を知っていますか？ …保護者対象

【令和5年調査】



【平成29年調査】

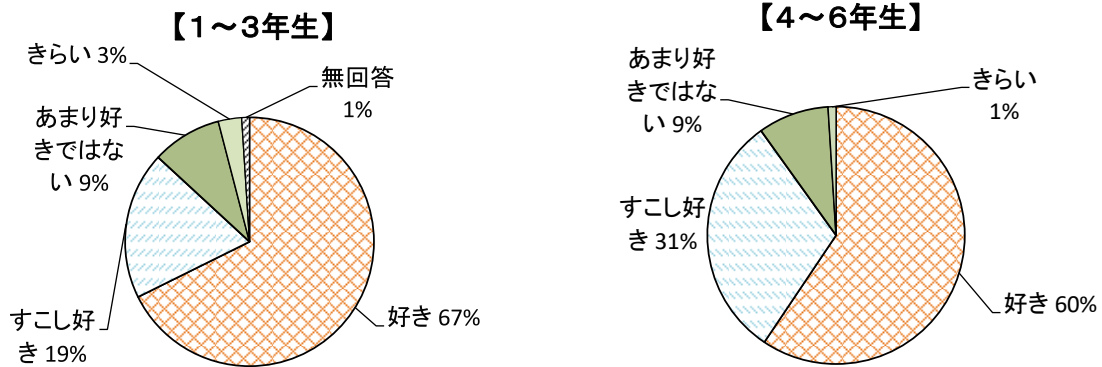


おはなし会を「知っているが参加したことがある」という回答が27パーセント、「知っているが参加したことはない」という回答が46パーセント、「知らない」という回答が27パーセントでした。平成29年調査よりも、「知っているが参加したことがある」の回答は3ポイント減少し、「知らない」の回答の割合が1ポイント増えました。「知らない」という回答の割合が増えた理由としては、新型コロナウイルス感染防止対策による臨時休館やイベントの中止・縮小、中央図書館の施設修繕等に伴う長期休館等の影響があると考えられます。

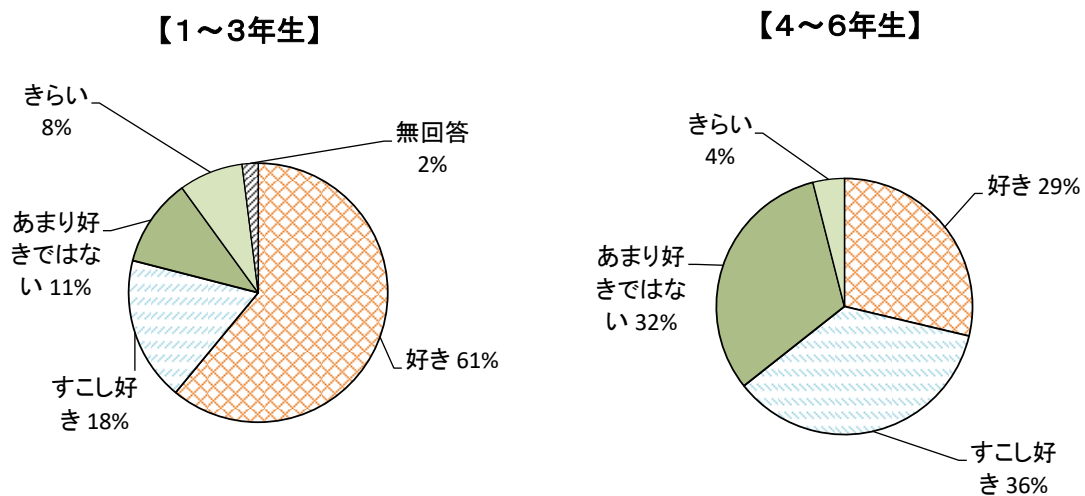
《全学年児童調査》

小学生の本への興味や読書の実態等について、学年による差を調査しました。

⑩ 本を読むことが好きですか？…児童対象

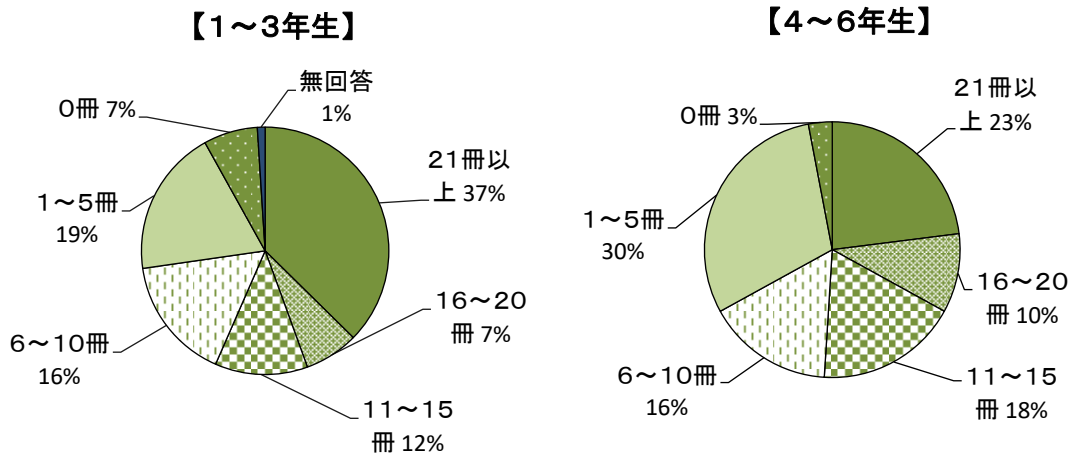


⑪ 本を読んでもらうことが好きですか？…児童対象

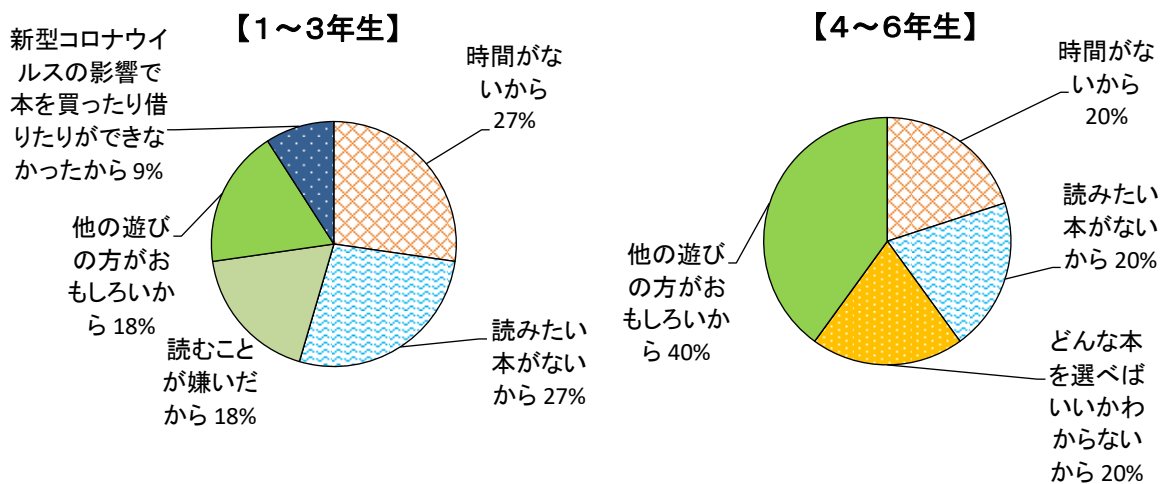


本を読むことが「好き・すこし好き」と回答した割合は、4～6年生の方が5ポイント多くなりましたが、「あまり好きではない・嫌い」と回答した割合は、1～3年生の方が2ポイント多くなりました。一方で、本を読んでもらうことが好きかという質問に対しては、1～3年生は4～6年生よりも「好き」と回答した割合が32ポイント多くなりました。

⑫ ここ1か月で本を何冊読みましたか？…児童対象



⑬ ⑫で「0冊」と答えた人に質問します。本を読まなかったのはなぜですか？…児童対象



21冊以上読んだ割合は、1～3年生の方が14ポイント多くなりましたが、0冊と回答した割合も1～3年生の方が4ポイント多くなりました。1～3年生の方が、子どもによって読む冊数に差がみられることが分かりました。

また、本を読まなかった理由については、全体的に「時間がないから」や「読みたい本がないから」という回答が多く、4～6年生では「他の遊びの方がおもしろいから」や「どんな本を選べばよいかわからないから」という回答も多くなりました。周りの大人が、子どもたちが本に興味を持ち、面白い本と出会えるような支援や取組を進めていく必要があります。

アンケート回答集計表

本への興味

質問項目	回答選択肢	小学生	中学生	高校生	計	小学生(割合)			中学生(割合)			高校生(割合)		
						R5	R2	H29	R5	R2	H29	R5	R2	H29
Q1 本を読むことが好きですか？	好き	82	128	75	285	56%	51%	54%	38%	42%	46%	31%	30%	42%
	すこし好き	49	111	92	252	33%	31%	30%	33%	35%	32%	38%	34%	31%
	あまり好きではない	7	68	57	132	5%	11%	13%	20%	16%	16%	23%	27%	17%
	きらい	9	28	21	58	6%	7%	3%	8%	7%	6%	9%	9%	10%
		147	335	245	727	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
Q2 本を読んでもらうことが好きですか？(小学生のみ)	好き	42			42	29%	34%	28%						
	すこし好き	58			58	40%	33%	38%						
	あまり好きではない	40			40	27%	23%	25%						
	きらい	6			6	4%	10%	9%						
		146			146	100%	100%	100%						

質問項目	回答選択肢	1歳6か月	保育所	幼稚園	小学校	中学校	計	割合	
								R5	R2
Q3 本を読みきかせたり、本について語り合うなどお子様と一緒に本を楽しんでいますか？	いつもしている	36	37	81	72	9	235	26%	20%
	ときどきしている	15	70	159	195	48	487	54%	49%
	ほとんどしない	1	8	25	107	36	177	20%	31%
		52	115	265	374	93	899	100%	100%
Q4 Q3で「ほとんどしない」と答えた方にうかがいます。過去にはお子様と一緒に本を楽しんだりしていましたが？	いつもしていた時期があった	0	2	4	31	15	52	29%	32%
	ときどきしていた時期があった	0	5	14	70	17	106	60%	59%
	今までもほとんどしていません	1	1	7	6	4	19	11%	9%
		1	8	25	107	36	177	100%	100%

子どもたちの読書実態

質問項目	回答選択肢	小学生	中学生	高校生	計	小学生(割合)			中学生(割合)			高校生(割合)		
						R5	R2	H29	R5	R2	H29	R5	R2	H29
Q5 どんな本が好きですか？ ★こたえは3つまで	絵本や物語の本	83	183	161	427	28%	28%	27%	31%	35%	33%	40%	48%	35%
	伝記や歴史の本	32	52	36	120	11%	16%	16%	9%	12%	12%	9%	10%	11%
	社会やくらしの本	13	18	18	49	4%	3%	4%	3%	3%	3%	3%	4%	3%
	理科の本	21	18	21	60	7%	5%	6%	3%	3%	5%	5%	3%	5%
	趣味の本(手芸・スポーツ・音楽など)	59	162	92	313	20%	18%	21%	27%	24%	23%	23%	17%	24%
	図鑑や百科事典	29	24	21	74	10%	9%	6%	4%	6%	5%	5%	4%	4%
	その他	56	137	53	246	19%	21%	20%	23%	17%	19%	13%	14%	18%
		293	594	402	1289	100%	100%	99%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
Q6 本を読むのはどうしてですか？ ★こたえは3つまで	おもしろいから	115	277	199	591	40%	39%	40%	46%	44%	43%	47%	53%	52%
	感動できるから	38	86	88	212	13%	14%	13%	14%	18%	17%	21%	16%	19%
	知らないことがわかるから	89	127	91	307	31%	27%	28%	21%	22%	23%	22%	17%	19%
	友達にすすめられたから	14	34	14	62	5%	4%	4%	6%	3%	5%	3%	4%	3%
	親にいわれるから	5	31	8	44	2%	3%	3%	5%	5%	5%	2%	3%	2%
	勉強に必要なから	30	50	19	99	10%	13%	12%	8%	8%	7%	5%	7%	5%
		291	605	419	1315	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
Q7 読みたい本はどのように手にいれますか？ ★こたえは3つまで	書店などで買う、または買ってもらう	96	299	203	598	35%	47%	36%	53%	57%	54%	52%	67%	66%
	学校の図書館を利用する	90	82	65	237	32%	27%	35%	14%	12%	19%	17%	13%	12%
	府中市立図書館を利用する	48	62	16	126	17%	17%	20%	11%	12%	13%	4%	2%	7%
	家族や友達に借りる	34	82	57	173	12%	5%	9%	14%	14%	14%	15%	9%	15%
	電子書籍を買う、または買ってもらう	10	42	52	104	4%	4%		7%	5%		13%	9%	
		278	567	393	1238	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
Q8 ここ1か月で本を何冊読みましたか？ ※春休みをのぞく	21冊以上	24	28	3	55	16%	10%	9%	8%	3%	3%	1%	1%	4%
	16～20冊	15	9	0	24	10%	9%	12%	3%	3%	2%	0%	2%	0%
	11～15冊	17	21	3	41	12%	10%	18%	6%	4%	6%	1%	2%	2%
	6～10冊	34	47	8	89	23%	25%	32%	14%	12%	13%	3%	3%	2%
	1～5冊	52	207	103	362	35%	40%	25%	62%	69%	67%	42%	47%	38%
	0冊	5	23	128	156	3%	6%	4%	7%	9%	9%	52%	45%	52%
無回答	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2%
		147	335	245	727	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

※「H29」・・・第4期計画策定時アンケート数値 「R2」・・・第4期計画中間アンケート数値
 ※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、個々の集計値の合計は必ずしも100%とはならない。

質問項目	回答選択肢	小学生	中学生	高校生	計	小学生(割合)			中学生(割合)			高校生(割合)		
						R5	R2	H29	R5	R2	H29	R5	R2	H29
Q9 Q8で「0冊」と答えた人に質問します。本を読まなかったのはなぜですか？	時間がないから	2	4	50	56	40%	28%	41%	17%	26%	28%	39%	39%	47%
	読みたい本がないから	0	6	23	29	0%	11%	17%	26%	16%	15%	18%	19%	15%
	どんな本を選べばいいかわからないから	0	2	2	4	0%			9%			2%		
	読むことが嫌いだから	1	4	19	24	20%	38%	17%	17%	25%	21%	15%	12%	12%
	他の遊びの方がおもしろいから	2	7	32	41	40%	17%	25%	30%	26%	34%	25%	28%	26%
	新型コロナウイルスの影響で本を買ったり借りたりできなかったから	0	0	2	2	0%	6%		0%	6%		2%	2%	
	無回答	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	1%	2%	0%	0%	0%
		5	23	128	156	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
Q10 Q8で「0冊」と答えた人に質問します。どんなことがあれば本を読みたいと思いますか。	おすすめの本を教えてください	1	11	68	80	20%			48%			53%		
	電子図書館の充実	0	2	18	20	0%			9%			14%		
	家族や友達と一緒に本を読む時間	2	5	12	19	40%			22%			9%		
	静かに本を読む場所	1	4	18	23	20%			17%			14%		
	貸出や返却に関わる利便性の充実	1	1	12	14	20%			4%			9%		
			5	23	128	156	100%	100%	100%	100%	0%	0%	100%	0%

保護者にとっての子どもと本の関係

質問項目	回答選択肢	1歳6か月	保育所	幼稚園	小学校	中学校	計	割合		
								R5	R2	H29
Q11 あなたは本を読むことが好きですか？	好き	26	44	96	169	37	372	41%		
	どちらかといえば好き	22	47	110	128	40	347	39%		
	どちらかといえば嫌い	4	21	52	72	16	165	18%		
	嫌い	0	3	7	5	0	15	2%		
		52	115	265	374	93	899	100%	0%	0%
Q12 読書は子どもの成長に重要だと思いますか？	思う	52	112	255	358	90	867	96%	96%	97%
	思わない	0	0	1	1	0	2	0%	0%	0%
	どちらともいえない	0	3	9	15	3	30	3%	4%	3%
		52	115	265	374	93	899	100%	100%	100%
Q13 本を読む子に育てるためには特に何が重要だと思いますか？ ★回答は3つまで	家庭での読書の習慣づけ	52	97	235	306	81	771	33%	33%	33%
	身近な大人の働きかけ	34	66	154	189	56	499	21%	23%	21%
	保育所・幼稚園等での働きかけ	27	72	158	82	17	356	15%	12%	15%
	学校での働きかけ	3	21	46	169	38	277	12%	13%	13%
	学校図書館の充実	9	15	39	165	25	253	11%	10%	9%
公立図書館の充実	13	34	78	87	23	235	10%	9%	9%	
		138	305	710	998	240	2391	100%	100%	100%

施設の利用状況

質問項目	回答選択肢	小学生	中学生	高校生	計	小学生(割合)			中学生(割合)			高校生(割合)		
						R5	R2	H29	R5	R2	H29	R5	R2	H29
Q14 授業以外で、1週間にどのくらい学校の図書室に行きますか？ ※春休みをのぞく	ほとんど毎日	9	5	3	17	6%	1%	2%	1%	2%	3%	1%	1%	2%
	3回くらい	13	13	5	31	9%	6%	12%	4%	2%	6%	2%	2%	1%
	1回くらい	38	24	14	76	26%	22%	24%	7%	9%	19%	6%	3%	5%
	1週間に1回は行かないが、年に数回	40	73	45	158	27%	23%	34%	22%	24%	30%	18%	14%	10%
	行かない	47	220	178	445	32%	46%	27%	66%	62%	42%	73%	79%	77%
	無回答	0	0	0	0	0%	2%	1%	0%	1%	0%	0%	1%	5%
		147	335	245	727	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
Q15 Q14で「いかない」と答えた人に質問します。図書室に行かないのは、なぜですか。	時間がないから	12	62	66	140	26%	23%	22%	28%	27%	26%	37%	36%	39%
	読みたい本がないから	7	57	32	96	15%	19%	12%	28%	27%	26%	18%	21%	22%
	読むことが嫌いだから	4	21	15	40	9%	7%	7%	10%	7%	8%	8%	5%	8%
	他の遊びの方がおもしろいから	11	63	48	122	23%	25%	46%	29%	28%	31%	27%	27%	23%
	図書室の利用のしかたがわからないから	5	3	1	9	11%	0%	5%	1%	3%	3%	1%	1%	0%
	図書室はなんとなく近寄りづらいから	1	11	12	24	2%	2%	8%	5%	7%	6%	7%	8%	8%
	図書室が閉まっていたから	6	0	2	8	13%	23%		0%	1%		1%	2%	
無回答	1	3	2	6	2%	1%	0%	1%	0%	0%	1%	0%	0%	
		47	220	178	445	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
Q16 1週間にどのくらい府中市立図書館に行きますか？	ほとんど毎日	1	1	1	3	1%	1%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	3%
	3回くらい	9	3	2	14	6%	5%	5%	1%	1%	2%	1%	1%	1%
	1回くらい	28	10	5	43	19%	15%	18%	3%	4%	9%	2%	1%	3%
	1週間に1回は行かないが、年に数回	54	85	25	164	37%	38%	43%	25%	32%	40%	10%	11%	13%
	行かない	55	236	212	503	37%	39%	32%	70%	62%	49%	87%	86%	74%
	無回答	0	0	0	0	0%	2%	0%	0%	1%	0%	0%	1%	6%
		147	335	245	727	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

※「H29」…第4期計画策定時アンケート数値 「R2」…第4期計画中間アンケート数値
 ※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、個々の集計値の合計は必ずしも100%とはならない。

質問項目	回答選択肢	小学生	中学生	高校生	計	小学生(割合)			中学生(割合)			高校生(割合)		
						R5	R2	H29	R5	R2	H29	R5	R2	H29
Q17 Q16で「行かない」と答えた人に質問します。図書館に行かないのは、なぜですか。	時間がないから	26	85	63	174	47%	35%	34%	36%	45%	51%	30%	31%	34%
	読みたい本がないから	6	40	29	75	11%	10%	10%	17%	17%	19%	14%	11%	11%
	読むことが嫌いだから	3	24	18	45	5%	10%	3%	10%	5%	5%	8%	4%	8%
	他の遊びの方がおもしろいから	10	66	39	115	18%	20%	36%	28%	23%	19%	18%	14%	16%
	図書館の利用のしかたがわからないから	0	4	1	5	0%	2%	5%	2%	2%	1%	0%	2%	0%
	図書館の場所がわからないから	8	16	60	84	15%	15%	11%	7%	6%	5%	28%	37%	31%
	図書館が閉まっていたから	2	1	2	5	4%	6%		0%	2%		1%	1%	
	無回答	0	0	0	0	0%	2%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
		55	236	212	503	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

質問項目	回答選択肢	1歳6か月	保育所	幼稚園	小学校	中学校	計	割合		
								R5	R2	H29
Q18 お子様は府中市立図書館の利用者カードを持っていますか？	持っている	27	65	177	307	81	657	73%	73%	75%
	持っていない	24	50	78	61	10	223	25%	25%	24%
	わからない	1	0	10	6	2	19	2%	2%	1%
	無回答	0	0	0	0	0	0	0%	0%	0%
		52	115	265	374	93	899	100%	100%	100%
Q19 府中市立図書館をどのくらいの割合で利用していますか？	月に2回以上行く	12	8	37	64	15	136	15%	13%	21%
	月に1回くらい行く	10	24	51	72	10	167	19%	17%	19%
	年に数回行く	14	40	91	139	38	322	36%	41%	40%
	行かない	16	43	86	99	30	274	30%	29%	20%
	無回答	0	0	0	0	0	0	0%	0%	0%
		52	115	265	374	93	899	100%	100%	100%

認知度調査

質問項目	回答選択肢	1歳6か月	保育所	幼稚園	小学校	中学校	計	割合		
								R5	R2	H29
Q20 全ての府中市立図書館で「おはなし会」を定期的に開催しています。ご存知ですか？	参加したことがある	13	15	75	111	28	242	27%	28%	30%
	知っているが参加したことはない	20	60	115	178	40	413	46%	45%	44%
	知らない・参加したことがない	19	40	75	85	25	244	27%	27%	26%
		52	115	265	374	93	899	100%	100%	100%
Q21 どのようなことがあれば参加したいと思いますか？(★複数回答可) ※Q20で「参加したことはない」、「知らない」と回答した方のみ	周知を工夫してほしい	16	60	112	132	30	350	52%		
	感染症対策をもっとしてほしい	2	4	11	14	1	32	5%		
	その他	5	17	30	52	20	124	18%		
	無回答	17	22	45	72	16	172	25%		
	40	103	198	270	67	678	100%	0%	0%	
Q22 子育て世代包括支援センター(旧保健センター)で3・4か月児健康診査の際、開設している「赤ちゃん絵本文庫」をご存知ですか？	知っている(図書館利用者カードを作った)	8	27	68	39	3	145	28%	37%	40%
	知っている(読み聞かせに参加した)	2	0	6	4	0	12	2%	5%	6%
	あることは知っている	14	29	51	25	0	119	23%	24%	23%
	知らない	28	55	102	53	2	240	46%	33%	28%
	無回答	0	2	2	0	0	4	1%	1%	3%
	52	113	229	121	5	520	100%	100%	100%	
Q23 どのようなことがあれば参加したいと思いますか？(★複数回答可) ※Q22で「あることは知っている」、「知らない」と回答した方のみ	周知を工夫してほしい	22	53	104	54	1	234	63%		
	感染症対策をもっとしてほしい	3	2	8	2	1	16	4%		
	その他	1	7	13	8	0	29	8%		
	無回答	17	23	35	16	1	92	25%		
		43	85	160	80	3	371	100%	0%	0%

※「H29」・・・第4期計画策定時アンケート数値 「R2」・・・第4期計画中間アンケート数値

※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、個々の集計値の合計は必ずしも100%とはならない。

質問項目	回答選択肢	1歳6か月	保育所	幼稚園	小学校	中学校	計	割合		
								R5	R2	H29
Q24 子ども読書活動推進委員会が市内の各施設で実施している、春と秋の「おはなしキャラバン」をご存知ですか？	参加したことがある	4	1	12	3	0	20	4%	6%	5%
	知っているが参加したことはない	4	16	35	20	2	77	15%	11%	13%
	知らない・参加したことがない	44	94	177	98	3	416	80%	82%	79%
	無回答	0	2	5	0	0	7	1%	1%	3%
		52	113	229	121	5	520	100%	100%	100%
Q25 どのようなことがあれば参加したいと思いますか？(★複数回答可)	周知を工夫してほしい	35	76	143	84	3	341	67%		
	感染症対策をもっとしてほしい	2	3	10	5	0	20	4%		
	その他	4	9	21	8	0	42	8%		
	無回答	8	25	49	24	2	108	21%		
		49	113	223	121	5	511	100%	0%	0%

質問項目 (中学生・高校生のみ)	回答選択肢	中学生	高校生	計	中学生(割合)			高校生(割合)		
					R5	R2	H29	R5	R2	H29
Q26 中央図書館の中・高校生を対象としたコーナー(YAコーナー)を知っていますか？	知っていて利用もしている	12	15	27	4%	9%	9%	6%	8%	8%
	知っているが利用していない	49	30	79	15%	23%	15%	12%	12%	17%
	知らない	274	200	474	82%	67%	73%	82%	79%	69%
	無回答	0	0	0	0%	1%	3%	0%	1%	6%
		335	245	580	100%	100%	100%	100%	100%	100%

※「H29」・・・第4期計画策定時アンケート数値 「R2」・・・第4期計画中間アンケート数値
 ※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、個々の集計値の合計は必ずしも100%とはならない。

全学年児童調査アンケート回答集計表

質問項目		実数値			割合	
		1～3年	4～6年	計	1～3年	4～6年
Q1 本を読むことが好きですか？	好き	101	96	197	67%	60%
	すこし好き	28	49	77	19%	31%
	あまり好きではない	14	14	28	9%	9%
	きらい	5	1	6	3%	1%
	無回答	2	0	2	1%	0%
		150	160	310	100%	100%
Q2 本を読んでもらうことが好きですか？	好き	92	46	138	61%	29%
	すこし好き	27	57	84	18%	36%
	あまり好きではない	16	51	67	11%	32%
	きらい	12	6	18	8%	4%
	無回答	3	0	3	2%	0%
		150	160	310	100%	100%
Q3 どんな本が好きですか？ ★こたえは3つまで	絵本や物語の本	74	80	154	23%	24%
	伝記や歴史の本	38	57	95	12%	17%
	社会やくらしの本	27	14	41	8%	4%
	理科の本	28	15	43	9%	5%
	趣味の本(手芸・スポーツ・音楽など)	45	55	100	14%	17%
	図鑑や百科事典	44	31	75	14%	9%
	その他	67	81	148	21%	24%
		323	333	656	100%	100%
Q4 本を読むのはどうしてですか？ ★こたえは3つまで	おもしろいから	101	136	237	30%	40%
	感動できるから	43	47	90	13%	14%
	知らないことがわかるから	97	91	188	29%	27%
	友達にすすめられたから	11	22	33	3%	7%
	親にいわれるから	22	2	24	7%	1%
	勉強に必要なだから	61	39	100	18%	12%
		335	337	672	100%	100%
Q5 読みたい本はどのように手に入れますか？ ★こたえは3つまで	書店などで買う、または買ってもらう	91	121	212	36%	37%
	学校の図書館を利用する	76	102	178	30%	31%
	府中市立図書館を利用する	37	49	86	15%	15%
	家族や友達に借りる	18	32	50	7%	10%
	電子書籍	30	21	51	12%	6%
		252	325	577	100%	100%
Q6 ここ1か月で本を何冊読みましたか？	21冊以上	56	37	93	37%	23%
	16～20冊	11	16	27	7%	10%
	11～15冊	18	29	47	12%	18%
	6～10冊	24	25	49	16%	16%
	1～5冊	28	48	76	19%	30%
	0冊	11	5	16	7%	3%
	無回答	2	0	2	1%	0%
		150	160	310	100%	100%
Q7 Q6で「0冊」と答えた人に質問します。本を読まなかったのはなぜですか？	時間がないから	3	1	4	27%	20%
	読みたい本がないから	3	1	4	27%	20%
	どんな本を選べばいいかわからないから	0	1	1	0%	20%
	読むことが嫌いだから	2	0	2	18%	0%
	他の遊びの方がおもしろいから	2	2	4	18%	40%
	新型コロナウイルスの影響で本を買ったり借りたりができなかったから	1	0	1	9%	0%
		11	5	16	100%	100%

※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、個々の集計値の合計は必ずしも100%とはならない。

質問項目		実数値			割合	
		1～3年	4～6年	計	1～3年	4～6年
Q8 Q6で「0冊」と答えた人に質問します。どんなことがあれば本を読みたいと思いますか？	おすすめの本を教えてください	3	1	4	27%	20%
	電子図書館の充実	0	1	1	0%	20%
	家族や友達と一緒に本を読む時間	1	1	2	9%	20%
	静かに本を読む場所	2	2	4	18%	40%
	貸出や返却に関わる利便性の充実	5	0	5	45%	0%
	無回答	0	0	0	0%	0%
		11	5	16	100%	100%
Q9 1週間にどのくらい学校の図書室にいきますか？	ほとんど毎日	28	8	36	19%	5%
	3回くらい	24	24	48	16%	15%
	1回くらい	23	53	76	15%	33%
	1週間に1回は行かないが、年に数回	8	52	60	5%	33%
	行かない	41	23	64	27%	14%
	無回答	26	0	26	17%	0%
		150	160	310	100%	100%
Q10 Q9で「行かない」と答えた人に質問します。図書室に行かないのはなぜですか？	時間がないから		8	8		35%
	読みたい本がないから		3	3		13%
	読むことが嫌いだから		0	0		0%
	他の遊びの方がおもしろいから		7	7		30%
	図書室の利用のしかたがわからないから		2	2		9%
	図書室はなんとなく近寄りにくいから		1	1		4%
	図書室が閉まっていたから		2	2		9%
			23	23		100%
Q11 1週間にどのくらい府中市立図書館にいきますか？	ほとんど毎日	24	0	24	16%	0%
	3回くらい	15	14	29	10%	9%
	1回くらい	40	19	59	27%	12%
	1週間に1回は行かないが、年に数回	28	73	101	19%	46%
	いかない	43	54	97	29%	34%
			150	160	310	100%
Q12 Q11で「行かない」と答えた人に質問します。図書館に行かないのはなぜですか？	時間がないから		25	25		46%
	読みたい本がないから		10	10		19%
	読むことが嫌いだから		0	0		0%
	他の遊びの方がおもしろいから		6	6		11%
	図書館の利用のしかたがわからないから		4	4		7%
	図書室の場所がわからないから		8	8		15%
	図書館が閉まっていたから		1	1		2%
			54	54		100%

※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、個々の集計値の合計は必ずしも100%とはならない。

【保護者アンケート 自由意見 まとめ】

保護者用アンケートのみ自由意見の記入欄を設け、そこで意見として主に挙げた項目を次のとおりまとめました。

項目	内容	件数	うち良いと評価する意見	
【市立図書館について】	児童サービス	おはなし会について(土日開催、開催回数等)	4	(2)
		おはなしキャラバンについて	1	
		児童書の蔵書について(新刊、人気本などを増やしてほしい、種類を増やしてほしい等)	12	(4)
		児童書の状態について(古い本が多いので買い換えてほしい等)	12	
		図書館内のおすすめリストやイベントについて	5	
		児童書配架・展示について	6	
		児童向け広報・PRについて	5	
		学校・保育所・幼稚園と市立図書館の連携について	1	
		その他	8	
	地区図書館	児童書蔵書・配架等について	5	
		開館日数及び時間について	1	
	施設面	立地について(自宅から遠い、規模が小さい等)	5	
		移動図書館、巡回バスなどについて	2	
		児童スペースについて	2	
		施設環境について(室内空調、明るさ等)	5	
	図書館サービス	カウンターでの職員の対応等について	2	
		子どもの図書館利用について	2	
		貸出し・返却について	6	(1)
		電子書籍の充実	2	
		その他(図書館の利用状況、市立図書館の充実度等)	6	(2)
図書館システム関連	図書館ホームページ・インターネットサービスの充実	1		
【学校図書館について】	読書時間	読書時間等の読書への取組の重要性等	2	
	図書室の蔵書	古い本が多い、蔵書の充実等	5	
【幼稚園・保育所について】	蔵書・貸出し	園内で本の貸出しの実施、蔵書の充実等	3	
【家庭等での読書】	読書環境について	家庭や身近な大人からの働きかけについて(家庭での役割や重要性等)	5	
合 計		108	(9)	

参考資料 2

子どもの読書活動の推進に関する法律

平成 13 年 12 月 12 日

法律第 154 号

(目的)

第 1 条 この法律は、子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、子どもの読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資することを目的とする。

(基本理念)

第 2 条 子ども（おおむね十八歳以下の者をいう。以下同じ。）の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

(国の責務)

第 3 条 国は、前条の基本理念（以下「基本理念」という。）にのっとり、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

(地方公共団体の責務)

第 4 条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

(事業者の努力)

第 5 条 事業者は、その事業活動を行うに当たっては、基本理念にのっとり、子どもの読書活動が推進されるよう、子どもの健やかな成長に資する書籍等の提供に努めるものとする。

(保護者の役割)

第 6 条 父母その他の保護者は、子どもの読書活動の機会の充実及び読書活動の習慣化に積極的な役割を果たすものとする。

(関係機関等との連携強化)

第 7 条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策が円滑に実施されるよう、学校、図書館その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他必要な体制の整備に努めるものとする。

(子ども読書活動推進基本計画)

第 8 条 政府は、子どもの読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（以下「子ども読書活動推進基本計画」という。）を策定しなければならない。

2 政府は、子ども読書活動推進基本計画を策定したときは、遅滞なく、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。

3 前項の規定は、子ども読書活動推進基本計画の変更について準用する。

(都道府県子ども読書活動推進計画等)

第9条 都道府県は、子ども読書活動推進基本計画を基本とするとともに、当該都道府県における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該都道府県における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「都道府県子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

2 市町村は、子ども読書活動推進基本計画（都道府県子ども読書活動推進計画が策定されているときは、子ども読書活動推進基本計画及び都道府県子ども読書活動推進計画）を基本とするとともに、当該市町村における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「市町村子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

3 都道府県又は市町村は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画を策定したときは、これを公表しなければならない。

4 前項の規定は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画の変更について準用する。

(子ども読書の日)

第10条 国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、子ども読書の日を設ける。

2 子ども読書の日は、四月二十三日とする。

3 国及び地方公共団体は、子ども読書の日趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。

(財政上の措置等)

第11条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策を実施するため必要な財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。

附 則

この法律は、公布の日から施行する。

参考資料 3

府中市子ども読書活動推進委員会規程

平成28年 2月18日

教育委員会規程第 1 号

(趣旨)

第 1 条 この規程は、府中市子ども読書活動推進計画(以下「推進計画」という。)に基づき、本市の子どもの読書活動の推進を図るため、府中市子ども読書活動推委員会(以下「委員会」という。)を設置し、その組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(所掌事項)

第 2 条 委員会は、次に掲げる事項について協議する。

- (1) 推進計画の策定に関すること。
- (2) 推進計画の取組の実施方法に関すること。
- (3) 前 2 号に掲げるもののほか子どもの読書活動の推進を図るために必要な事項に関すること。

(組織)

第 3 条 委員会は、次に掲げる課又は室に所属する係長又はこれに相当する職務を行う職員のうちから、教育委員会が任命する委員10人で組織する。

- (1) 市民協働推進部地域コミュニティ課
- (2) 文化スポーツ部文化生涯学習課
- (3) 文化スポーツ部図書館
- (4) 福祉保健部障害者福祉課
- (5) 子ども家庭部子育て応援課
- (6) 子ども家庭部子ども家庭支援課
- (7) 子ども家庭部保育支援課
- (8) 子ども家庭部児童青少年課
- (9) 教育部教育総務課
- (10) 教育部指導室

(委員長及び副委員長)

第 4 条 委員会に、委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長及び副委員長は、委員の互選による。
- 3 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときはその職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会の会議は、委員長が必要に応じて招集し、委員長が議長となる。

2 会議は、委員の過半数が出席しなければこれを開くことができない。

3 委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、意見、助言等を求めることができる。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、文化スポーツ部図書館において処理する。

(雑則)

第7条 この規程に定めるもののほか委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

付 則

この規程は、平成28年4月1日から施行する。

付 則(平成29年3月23日教委規程第2号)

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

付 則(平成31年3月28日教委規程第1号)

この規程は、平成31年4月1日から施行する。

参考資料4

令和5年度府中市子ども読書活動推進委員会委員名簿

No.	氏名	所属		職位
1	柏木佳代	市民協働推進部	地域コミュニティ課 (片町文化センター)	所長
2	武居利史	文化スポーツ部	文化生涯学習課	係長
3	藤川光	文化スポーツ部	図書館	係長
4	宮崎恵子	福祉保健部	障害者福祉課	主査
5	木佐貫博之	子ども家庭部	子育て応援課	係長
6	中村允彦	子ども家庭部	子ども家庭支援課	係長
7	中村淳	子ども家庭部	保育支援課	主査
8	荻野道高	子ども家庭部	児童青少年課	係長
9	若山貴	教育部	教育総務課	課長補佐(兼) 学校庶務係長
10	中尾友昭	教育部	指導室	指導主事

事務局 文化スポーツ部 図書館

参考資料5

子どもの読書活動推進に関する動向

年 月	内 容
平成 11 年 8 月	子ども読書活動を国を挙げて支援するため平成 12 年を「子ども読書年」とする衆参両議院決議
平成 12 年 5 月	国立国会図書館の支部図書館として「国際子ども図書館」開館
平成 12 年 12 月	子ども読書活動の推進のために、「子ども読書活動振興法案作成プロジェクト」設置
平成 13 年 4 月	「子どもゆめ基金」が創設され、民間団体の子ども読書活動等の助成開始
平成 13 年 12 月	「子どもの読書活動の推進に関する法律」施行
平成 14 年 8 月	「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（第一次）」策定
平成 15 年 3 月	「東京都子ども読書活動推進計画（第一次）」策定
平成 15 年 11 月	* 「府中市子ども読書活動推進計画（第 1 期）」策定
平成 17 年 7 月	「文字・活字文化振興法」施行
平成 18 年 12 月	「教育基本法」改正
平成 20 年 3 月	「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（第二次）」策定
平成 20 年 3 月	「幼稚園教育要領」「小学校学習指導要領」「中学校学習指導要領」改訂
平成 20 年 6 月	「社会教育法」「図書館法」改正
平成 20 年 9 月	* 「第 2 期府中市子ども読書活動推進計画」策定
平成 21 年 3 月	「第二次東京都子供読書活動推進計画」策定
平成 21 年 3 月	「高等学校学習指導要領」「特別支援学校学習指導要領」改訂
平成 22 年	国民読書年
平成 25 年 3 月	* 「第 3 期府中市子ども読書活動推進計画」策定
平成 25 年 5 月	「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（第三次）」策定
平成 26 年 6 月	「学校図書館法」改正（平成 27 年 4 月施行）
平成 27 年 2 月	「第三次東京都子供読書活動推進計画」策定
平成 29 年 3 月	「幼稚園教育要領」「小学校学習指導要領」「中学校学習指導要領」改訂
平成 30 年 3 月	「高等学校学習指導要領」改訂
平成 30 年 3 月	* 「第 4 期府中市子ども読書活動推進計画」策定
平成 30 年 4 月	「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（第四次）」策定
平成 31 年 4 月	「特別支援学校高等部学習指導要領」改訂
令和 元年 6 月	「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律（読書バリアフリー法）」施行
令和 2 年 7 月	「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する基本的な計画」策定
令和 3 年 3 月	「第四次東京都子供読書活動推進計画」策定
令和 5 年 3 月	「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（第五次）」策定

参考資料6

注記用語一覧

No.	用語	用語説明
1	DX（デジタル・トランスフォーメーション）	ICTの浸透が人々の生活のあらゆる面でより良い方向に変化させること。
2	子ども読書の日	子どもの読書活動の推進に関する法律では、子どもの読書活動についての関心と理解を深め、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、4月23日を「子ども読書の日」と定めている。
3	子どもの読書月間	府中市では、10月を「子どもの読書月間」と定めている。
4	ブックトーク	一つのテーマに沿って様々なジャンルの本を複数冊紹介し、本に対する興味・関心を高めるための取組のこと。
5	YA（ヤングアダルト）	子どもと大人の中間に位置する中学生・高校生世代を中心とした若者たちを表す言葉。
6	旬間	行事などを行うために特に区切られた10日間のこと。
7	りんごの棚	「子どもは本を必要としており、読書の喜びを体験する権利がある。」との考えのもと、スウェーデンの公共図書館で始まった取組のこと。
8	LLブック	写真や絵、短い言葉を使うなど、文字を読むことや言葉を理解することが難しい方にも分かりやすく書かれた本のこと。
9	府中市生涯学習サポーター	市民学習グループなどの求めに応じて指導や支援を行う、文化・芸術活動などの専門的知識や技術を持った方々のこと。
10	ビブリオバトル	発表者が読んで面白いと思った本を紹介し、全ての発表が終了した後、どの本が一番読みたくなったかを参加者の多数決で選ぶ取組のこと。
11	並行読書	国語科等の学習において、単元の指導のねらいを達成するため、教科書教材等と関連させて、本や文章を読むことを位置付ける指導上の工夫のこと。
12	情報リテラシー	情報を十分に使いこなせる能力。大量の情報の中から必要なものを収集し、分析・活用するための知識や技能のこと。
13	レファレンス	図書館で、資料・情報を求める利用者に対して提供される、文献の紹介・提供などの援助のこと。
14	主権者教育	総務省の「常時啓発事業の在り方等研究会 最終報告書」（平成23年）では、「国や社会の問題を自分の問題と捉え、自ら考え、自ら判断し、行動していく主権者を育成していくこと」と定義されている。
15	マルチメディアデイジー	活字による読書が困難な方のために開発されたデジタル録音図書のこと。文字や音声、画像を同時に再生し、文字の大きさや色を変更することができる。
16	アクセシブル	全ての利用者にとって機器やサービスなどにアクセスしやすく、利用しやすい状態のこと。
17	ストーリーテリング	昔話や創作された物語を全て覚えて語り聞かせること。